

2014 年 6 月 SG1 ブロック会合報告書

参考資料 2-1	2014 年 6 月 ITU-R WP1A 会合報告書
参考資料 2-2	2014 年 6 月 ITU-R WP1B 会合報告書
参考資料 2-3	2014 年 6 月 ITU-R WP1C 会合報告書
参考資料 2-4	2014 年 6 月 ITU-R SG1 会合報告書

2014年6月 ITU-R WP1A 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP1A 会合
 (スペクトラム技術に関する作業部会)
- 【会 期】 2014年6月3日(火)～6月11日(水)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概 要】

本会合は、今研究期間における第3回会合である。36ヶ国の主管庁と4のROA (Recognized Operating Agencies)、7のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、4の地域または国際機関事務局等より計132名が参加した。日本からは、菅田氏、宮澤氏(総務省)、石田氏(ケアルコムジャパン)、小川氏(電波産業会)、亀谷氏(国立天文台)、郷間氏(村田製作所)、小林氏(ドコモモバイル)、佐々木氏(デンソー)、庄木氏(東芝)、南方(トヨタ自動車)の10名が参加した。

日本、韓国、中国、ドイツ、カナダなどからの寄与文書及び前回の議長報告と他SGグループからのリエゾン文書を含め合計58件の入力文書が審議され、34件の出力文書が作成された。

本会合では、3つのWorking Group (WG)等が設置され、各議題について審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

また、表-2に入力文書一覧を、表-3に出力文書一覧を示す。

表-1 WP1Aの会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1A 議長 : Mr. R. Garcia De Souza (ブラジル)
Working Group 1A-1 議長 : Mr. J. Shaw (英国 BBC) 担当 : 電力線搬送通信 (PLT) システムを含む 無線通信システムと有線電気通信の共存とその関連事項
Working Group 1A-2 議長 : Mr. A. Orange (ケアルコム) 担当 : ワイヤレス給電システム (WPT)、無線通信業務の保護及び不要放射
Working Group 1A-3 議長 : Ms. B. Sykes (米国) 担当 : CATハンドブックとその他の事項

1 Working Group 1A-1 : 電力線搬送通信 (PLT)システムを含む無線通信システムと有線電気通信の共存とその関連事項 (議長:Mr. J. Shaw (英国 BBC))

1.1 電力線搬送通信 (PLT)システム

入力文書 : 1A/106 (WP3L) , 110(WP7D), 146 (RG Rapporteur)

出力文書 : 1A/TEMP/ 63

(1) 主要結果

寄与文書 1A/146 (RG Rapporteur) の確認および修正作業が行われた。PLT による航空業務やケーブルテレビに対する悪影響の懸念が述べられた。PLT 機器による性能の多様性が指摘され、シリアスな干渉源になりうる懸念がまとめられている。ITU の外部団体 SDO (Standards Developing Organizations)の作業が ITU-T によって進められている broadband (G.9960 family) PLT と narrow band (SmartGrid 用の G.9955 family) PLT の標準化作業と合わない問題が指摘された。今後のこれらの団体との関係への懸念が付け加えられた。

(2) 審議概要

1) PLT による影響の確認

入力文書 : 1A/106 (WP 3L), 110(WP7D), 146 (RG Rapporteur)

出力文書 : 1A/TEMP/ 63

- ・ 寄与文書 1A/146 (RG Rapporteur) の確認および修正作業が行われた。
- ・ 4章 (PLT work under the G.9960 & G.9955 family of Recommendations - ITU-T SG 15) について、PLC からの混信について PLT による航空業務やケーブルテレビに対する悪影響の懸念が述べられた。議長は、覚書として懸念する文書を記録した。
- ・ 4章 (PLT work under the G.9960 & G.9955 family of Recommendations - ITU-T SG 15) と 5章 Conclusions について、参加者から、SG1 の要約システムに欠落があり、ITU 自身が標準化について貢献するよう指摘があった。議長より、PLT レポートに、日本やカナダのテスト結果が書かれている事を確認された。参加者より PLT スタンドアードは、シリアスな干渉が起こるかもしれないと懸念があった。ドイツの PLT 機器には性能にヴァリエティがあると意見があり、議長が以前のドキュメントと比較してみたところ、違いがあることを確認した。
- ・ 文書 146 (§ 4 & § 5) に関して、ITU の外部にある SDO (Standards Developing Organizations)による broadband PLT と SmartGrid 用の narrow band PLT について ITU-T の認識不足を指摘した。そして、この団体と産業団体により決められた機器仕様が ITU-T 標準と合わない問題が指摘された。今後のこれらの団体との関係への懸念が付け加えられた。

- ・ 文書 1A/106 (WP3L より WP1A へのリエゾン文書) について紹介があり、興味深い情報であるとの議長意見があった。この文書に関連して IARU より会場内で PLT からの会場内への電波干渉の実演があり、1 台でも影響がある旨の意見があった。Impulse noise であることの認識について、日本のテスト結果について例を挙げながら、集積効果についてコメントがあった。
- ・ 文書 1A/110 (WP7D より WP1A へのリエゾン文書) について電波天文の周波数がこのデバイスの発する周波数と異なるので、寄与文書として採用しないという事になったが、その後、誤りの指摘があり、元に戻った。

1.2 Smart Grid Power Management Systems

入力文書 : 1A/105 Rev.1, 143 (IEEE)

出力文書 : 1A/TEMP/59, 60, 61

(1) 主要結果

new Report 草案 ITU-R SM.[SMART_GRID] に向けた作業文書が検討され、IEEE からの入力文書 1A/143 によってもたらされた Smart Grid の無線を基にするコンポーネントを考慮した周波数の標準化に向けての情報がアップデートされた。しかし、今回は入力文書が 1 通しかなく、どの周波数を選ぶかについて不確定性が大きいこともあり、今後の議論の進展は明確でない。

(2) 審議概要

1) Smart Grid についての情報のアップデート

入力文書 : 1A/105 Rev.1, 143 (IEEE)

出力文書 : 1A/TEMP/59, 60, 61

新 Report 草案 ITU-R SM.[Smart Grid] に向けた作業文書が検討され、IEEE からの入力文書 1A/143 によってもたらされた Smart Grid の無線を基にするコンポーネントを考慮した周波数の標準化に向けての情報がアップデートされた。検討結果は、文書 1A/TEMP/59 にまとめられ、その内容は、ITU 内にはリエゾン文書 1A/TEMP/60 として回覧され、ITU 外の SDO にはリエゾン文書 1A/TEMP/61 として送付されることになる。

1.3 ビル内、家庭内での使用に適した有線及び無線システム

入力文書 : 1A/110 (WP 7D), 146 (RG Rapporteur) 108, 134 (ITU-T SG 15), 121 (WP 6A), 123 & 158 (WP 5B), 125 (WP 5A & WP 5C), 130 (WP 4C), 119, 126, 160 (ITU-T SG 9), 120 (WP 6A), 124 (WP 5A & WP 5C), 127 (ITU-T SG 5), 132 (WP 6A), 161 (ITU-T SG 9)

出力文書 : 1A/TEMP/62, 64, 65, 66, 67, 71

(1) 主要結果

文書 1A/146 に基づき、電気通信システムの保障、環境の中の電波周波数ノイズの超過レベル、G.9700 パワースペクトル密度 (PSD) リミットマスクの考慮、G fast と共に

使用しようとするケーブル仕様と性能、J.HiNoC システムからの電波周波数エネルギー漏洩、K シリーズの勧告への ITU-R の関心事項等、漏洩電波の懸念事項について多岐にわたる項目が検討された。議論は継続中であり、関係 WP 等にリエゾン文書や情報として今回の検討内容を知らせることとなった。

(2) 審議概要

1) 電気通信システムの保障

入力文書：1A/121, 1A/123, 1A/130, 1A/146, 1A/158

出力文書：1A/TEMP/62

ITU-T SG15 へのリエゾン文書 (ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー文書を転送)：甚大な干渉との等価性と回避性を適切に評価された電波周波数の使用による電気通信システムを保障すべきであるとした。BBC より建物による 20-30dB とされる減衰量に周波数依存性がある事を踏まえ、その情報をもたらすよう WP3L に指摘する事が記された。

2) 環境の中の電波周波数ノイズの超過レベル

入力文書：1A/106, 1A/110

出力文書：1A/TEMP/64

ITU-T SG15, 5 へのリエゾン文書 (ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー文書を転送)：電波天文の周波数がこのデバイスの発する周波数と異なるので、寄与文書として採用しないという事になったが、その後、誤りの指摘があり、元に戻った。ITU-T に対するリエゾン先を SG15 のみから SG15 および 5 に変更して承認。

3) G.9700 パワースペクトル密度 (PSD) リミットマスクの考慮

入力文書：1A/105 Rev.1 (Annex 3), 1A/108, 1A/110, 1A/121, 1A/123 (Annexes 1 & 2), 1A/125, 1A/134, 1A/146, 1A/158 (Annex 1))

出力文書：1A/TEMP/65

ITU-T SG15 へのリエゾン文書 (ITU-R WP4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー文書を転送)：「G7000」の語句を全て「G.9700」に変更して承認。

4) G.fast と共に使用しようとするケーブル仕様と性能

入力文書：1A/105 Rev.1, 1A/120, 1A/121, 1A/123 (Annex 2), 1A/134, 1A/146

出力文書：1A/TEMP/66

BROADBAND FORUM へのリエゾン文書 (ITU-T SG15 と ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー文書を転送)：G.fast の PLT からのノイズ上昇の指摘があった。SDO と産業団体との関係への懸念が付け加えられた。MBW 測定バンド幅と周波数帯の不整合の懸念を SG15 に対して表明することとする。また、ポルトガルより PSD マスクの評価を付け加える必要があるとコメントがあり、PSD マスク性能を評価するツールについての疑問を呈する必要性を SG15 に対して表明することとする。マレーシアなどから航空への影響への懸念を記載するよう要求があった。BBC よりノイズの性質をもっと調べることが必要であると指摘があった。欧州電気標準化委員会 (CENELEC) の活動により、ITU-T が認める PLT システムと矛盾するほどの強力な PLT レベル上昇がある事により G.fast への問題が指摘された。これらの意見を取り入れて最終案が承認された。

5) J.HiNoC システムからの電波周波数エネルギー漏洩

入力文書：1A/105 Rev.1, 1A/119, 1A/123, 1A/124, 1A/126, 1A/146, 1A/158

出力文書：1A/TEMP/67

ITU-T STUDY GROUP 9、5、ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D へのリエゾン文書：BBC より、CABLE TV による強い干渉がある事が指摘された。ケーブルからのリークの標準化とは何か、設置状況の評価向上について疑義がだされ、Cable TV への影響について議論された。明確な国際標準がないように見える点が指摘された。問題点は、TV 伝送が飛んでない状態で漏洩電波の測定が難しいことにあり、K シリーズの勧告に関する問題を ITU-T に検討するように記す事になった。Reference を明記する他、いくつかの文言の変更の後、承認された。

6) K シリーズの勧告への ITU-R の関心

入力文書：1A/105 Rev.1, 1A/120, 1A/127, 1A/132, 1A/146, 1A/158

出力文書：1A/TEMP/71

ITU-T SG5 へのリエゾン文書 (ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D へコピー文書を転送)：航空関係への影響の懸念があり、適切な影響評価実験の実施の必要性がまとめられた。T セクターが他セクターからの意見と独立に電波の EMV を実施する事への懸念が記載された。

2 Working Group 1A-2：ワイヤレス給電システム (WPT)、無線通信業務の保護及び不要放射 (議長：Mr. A. Orange (クアルコム))

2.1 ワイヤレス給電システム (WPT)

入力文書：1A/115 (CISPR), 118 (IEC-TC100), 133 (APT), 135 (TTA on behalf of the CJK WPT WG), 140 (CHN), 141+Add.1 (CG 前議長 with inputs from Qualcomm, Inc. and CISPR), 142 (A4WP), 150 (KOR), 151 (KOR), 153 (JPN), 153 (JPN), 154 (JPN), 155 (JPN)

出力文書：1A/TEMP/56(Rev.1)+Corr.1, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87(WP1A-2 議長),

(1) 主要結果

- WPT 技術レポートに各国の状況が正しく反映され、その次のステップとして勧告の検討を行うことが確認された。
- 電気自動車 (EV)・モバイル機器・家電用の WPT 技術レポート “NEW REPORT ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]” のドラフトが完成し、SG1 へ送付した。同レポートは日本、韓国の寄書入力をベースに、さらに CISPR、Alliance for Wireless Power (A4WP) などの返信リエゾンなどを参照し、完成させた。日本での検討

周波数はそのまま盛り込まれ紹介されている。第4節「標準化状況」には CISPR による WPT の放射に関する法制度的見解と ICNIRP による電波からの人体保護に関する内容が盛り込まれた。日本と韓国からは技術紹介、アプリケーション、運用情報、法制度整備の状況が盛り込まれた。さらに日本からは周波数共用検討に関するまとめが本文中に、また測定データの寄書が Appendix に採用された。A4WP の情報がサービス運用の実例として Appendix に採用された。

- 周波数特定のための勧告草案に向けた作業文書“WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[WPT]”は上述の技術レポートを参照し、各国が周波数特定の作業を行い、CG-WPT を活用しつつ次回会合で勧告化を図ることとした。“noting”に、「有害な干渉の排除」、「人体への影響に関する ICNIRP ガイドライン」、「Rec. ITU-R SM.1056 による ISM 機器の放射制限」、「Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]の内容」、が加えられた。さらに“recommends”として、(i) WPT 使用周波数のカテゴリー、(ii) WPT に最も適した無線周波数帯域、(iii) WPT 運用から電波天文業務を含む無線通信業務を守るために要求される手順、が記載された。これに伴い、日本と韓国からの提案入力は見直しになり、Annex はそのタイトル（勧告する技術分野）のみが残された。
- CG-WPT は審議を加速するため1年さらに継続することになった。新議長に Alex Orange 氏が就いた。
- IEC/CISPR、APT、ETSI 等の関連標準化機関等に今会合の成果物を送付し、Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]中に直接参照されている組織には同文書内容の確認ならびに ITU の研究への寄与を求める文書を発出。他の団体には ITU-R の最新検討状況を伝え、協力を要請した。
- Rec. ITU-R SM.[BEAM]（無線ビームによるワイヤレス電力伝送）については今回入力がなかったため議論を行わなかったが、外部団体へのリエゾン中に寄書依頼を入れることになった。

(2) 審議概要

1) WPT 技術レポート“NEW REPORT ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]”の策定

入力文書： 1A/115 (CISPR), 118 (IEC-TC100), 133 (APT), 135 (TTA), 141+Add.1 (CG 前議長), 142 (A4WP), 151 (KOR), 153 (J), 153 (J), 154 (J)

出力文書： 1A/TEMP/56(Rev.1)+Corr.1

[ドラフト作業]

- ① 現地にて作業文書を日本と韓国の入力文書をマージして作成した。それをもとに6月7日（金）及び8日（土）両日を含め、10回を越えるセッションを費やしドラフトをまとめた。
- ② 中国等から、周波数と技術についてシンプルに記述されるべきとのコメントがあり、全体を見直した。各国電波行政の具体的な情報は削除された。ただし、国際規格に有用なものと合意されれば関連する事実（例：日本や韓国の事例）の記述が認められた。各国から確認のとれていない記述は全て削除された。
- ③ 人体防護指針として、ICNIRP の副節が追加された。イスラエルのドラフトに日本が改定提案を行い、最終案をまとめた。ICNIRP 1998 と ICNIRP 2010 も加えた。
- ④ 関連 CISPR 規格の副節が追加された。
- ⑤ 日本の EV 提案と韓国の OLEV 提案は、アプリケーションも電力も大きく異なることから、各々“Electric Passenger Vehicle”と“Heavy Duty Vehicle”とし、

明確に分けた。

- ⑥ 技術用語を統一し、記述をより客観的な文言に修正した。「電磁誘導」と「磁界共鳴」は各々magnetic induction と magnetic resonance とした。周波数は中心周波数でなく帯域で明確に記述した。Capacitive coupling については技術的記述の明確化が求められ、修正された。
- ⑦ 結論は全体の記述をまとめるのみとし、“Conclusion”ではなく“Summary”で合意。技術と周波数と電力を国名を書かずグローバルな見地で書くことが合意され、全て書き直した。
- ⑧ Appendix には次の3つの技術情報文書が採用された。1)日本提案の高周波暴露に関するBWFとAPT Survey Report の情報 2) 実用例としてA4WPのリエゾン返信に添付された磁界共鳴技術とアプリケーション紹介 3)日本寄書のひとつである「測定データ」の文書。
- ⑨ 英国、BBC、IARU から、“Introduction”と“Summary”の各冒頭部分に「このReportはITU-Rで合意されていない周波数帯提案と可能性のある帯域外輻射レベルを含んでおり、周波数共用検討が必要で、ある地域での研究開発及び進行中の検討の概要が示されている」との旨の параグラフの追加提案があり、合意された。
- ⑩ Report の各節のタイトルは記述修正内容にあわせて見直し、次で合意した：
1.Introduction; 2. Applications developed for use of WPT technologies; 3.Technologies employed in or incidental to WPT applications, 4.WPT's standardization situation in the world (incl. CISPR and ICNIRP); 5. Status of spectrum; 6.Status of national regulation; 7.Status of co-existence studies between WPT and radiocommunication services, including the radio astronomy service; 8.Summary; Appendix: 1) RF exposure information, 2) Implementation example of 6.78MHz magnetic resonant systems, 3) Measurement data

[ドラフト作業中に上げられた関連議論]

- ⑪ EV アプリケーションにつき、イスラエル、英国、ドイツから質問があった。日本から、その技術的特徴とともにBWF, IEC, SAE, JARI の関係、標準化目標（インターオペラビリティの確保）、具体的な検討中の周波数範囲を紹介し、理解を得た。
- ⑫ Non-ISM 帯域について、特に数 10kHz～数 100kHz の周波数範囲で既存のシステムとの共存について懸念が出された。イスラエルは韓国 OLEV(75kW-100kW)について潜水艦など海軍の通信機器の周波数範囲（20kHz）との共存に強い懸念を示した。
- ⑬ イスラエルは、放射規制値に関し日本がEV最悪条件想定での測定データを公開したのに対し、韓国 OLEVについて質問した。韓国はCISPR11を参照しているが、150kHz以下であるため独自基準を適用と回答。
- ⑭ Appendix 3)日本寄書「測定データ」に関し、6GHzまで測定した理由をイスラエルが質問。日本は関連する機器の帯域を考慮したことを説明。イスラエルはその考えに賛同した。
- ⑮ イスラエルとポルトガルは、公衆環境でEMFから人を守るための適切なWPT使用表示の必要性に言及した。

2) WPTに関する勧告草案に向けた作業文書“WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SM.[WPT]”の策定

入力文書：1A/141+Add.1, 150, 155

出力文書：1A/TEMP/83

- ① 現地にて、日本と韓国の入力(1A/150, 155)をマージした作業文書を作成した。WP1A-2 は基となる Question 210-3/1 の記述まで遡りレビューした。その結果、“noting” と “recommends” のパラグラフを大きく修正した。
- ② “noting” では、これまでの IEC TC100, IEC TC69 および各関連団体活動に加え、「既存システムへの有害な干渉を起こさないこと」、「人体への影響に関し ICNIRP ガイドライン」、「Rec. ITU-R SM.1056 放射許容値および CISPR11」、「REPORT ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]」内容」が盛り込まれた。
- ③ “recommends” では、昨年の勧告草案に向けた作業文書中に Question 210-3/1 内容に対して明確な勧告内容の記載がなかったため、改めて勧告内容の明確化が行われた。新たな作業文書の “recommends” :は以下 : (i) WPT 使用周波数のカテゴリー, (ii) WPT に最も適した無線周波数帯域, (iii) WPT 運用から電波天文業務を含む無線通信業務を守るために要求される手順。
- ④ これに伴い、日本と韓国からの提案入力は見直しになり、Annex はそのタイトル（勧告する技術分野）のみが残された。作業文書(TEMP/83) は次回会合へ持ち越された。“recommendation” の新規提案が求められた。

3) CG-WPT の 1 年間延長合意

入力文書 : 1A/141+Add.1

出力文書 : 1A/TEMP/77

CG-WPT 期間の 1 年間延長が合意された。CG-WPT の入力期限は次回 WP1A (2015 年 6 月 3 日～) の 1 ヶ月前である。議長は Alex Orange 氏。ToR (TEMP/77) は 2013 年 6 月以降の作業進展と WPT 技術レポートの WP1A-2 でのドラフト完を受けて修正されているが、Question 210-3/1 に基づく方針に変わりはない。今 WP1A 会合の終了に伴い、議論の場は CG-WPT に移る。

4) WPT 周波数の法制度的状況についての議論

入力文書 : 1A/140(CHN)

出力文書 : (なし)

中国から、WPT の法制度的な扱い(regulatory status)は ISM か SRD かが提起され議論した(1A/140)。通信機能の有無、放射特性、また、CISPR でも ISM との考えが支持されていることから ISM が適当との意見が多くを占めた。この質問は WP1B でも議論されたが、WP1A で WPT の諸検討が進行中であるため何もアクションがとられなかった。本件は継続検討される。

5) CISPR との WP1A ラポータ必要性

CISPR で 9kHz-150kHz の規定がないことが何度も取り上げられた。CISPR との連携の必要性は会合中何度も多くの参加者から指摘された。WP1A からラポータを出す必要性が挙げられた。イスラエルより日本から人を出してはどうかとの提案があった。議論は SG1 へ上げられることになった。

6) WP1B との連携

- ① WP1A での WPT 議論は周波数範囲と送信電力を調査・検討しており、WP1B((Spectrum management methodologies and economic strategies)での審議が必要との意見がたびたび出された。会合中、WP1B でも WP1A との連携が議論されたが結論は出なかった。また、WP1A で審議中のため WP1B では時期尚早として今会合では WP1A でのみ議論された。

- ② 周波数は WP1B の所掌範囲であり、次回から WP1B でも議論され、勧告の議論では WP1B の関与が不可欠であることが確認された。日本から、WP1A と WP1B で別々に行うことは審議する場所とリソースが分割され有効でないとの意見した。

7) 関係団体へのリエゾンの作成

入力文書：1A/115 (CISPR), 118 (IEC-TC100), 133 (APT), 135 (TTA), 142 (A4WP)

出力文書：1A/TEMP/78,79, 80, 81, 82, 84, 85, 86

WPT に関連した組織・団体へのリエゾン文書を発出した。IEC/CISPR、APT 等の関連標準化機関等に今国会の成果物を送付し、Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]中に直接参照されている文書内容の確認ならびに今後の ITU の研究に寄与を求める内容が記載されている(TEMP/78, 79, 80, 82, 85, 86)。他の関連団体・組織にも ITU-R における最新状況が伝えらるとともに、協力を求めている(TEMP/84)。また、今国会で入力がなく議論されなかった SM.[BEAM]に関し、URSI (ICWG on SPS)を含む外部団体に対し、今後の協力依頼のリエゾン文書を送ることになった(TEMP/81)。

8) 各国のサポート状況

- 米国： モバイル機器用周波数の特定を先行すべき。EV 用は高出力も想定し ISM 帯としての取扱いを含め時間が必要。
- 英国： ラジオ帯や人体への影響を考慮すべきで、技術検討の内容の確認に時間が必要。
- 独国： 国内の議論が成熟していないため早急な結論を出すべきではない。
- フランス： 欧州の SRD 規制値からは問題ない。国内に関連産業もあり協力したい。
- オランダ： フィリップスも関心があり協力したい。ETSI の検討が追い付いていない。
- イスラエル： WPT レポートは有用。特に高出力 EV (バス等) は、潜水艦通信帯、ラジオ帯、人体への影響に配慮すべき。
- 中国： 技術レポートは問題ない。
- 韓国： モバイル機器用に加え、高出力 EV 用も勧告化すべき。
- 日本： 次回 SG1 で乗用車用 EV 等の周波数特定を図り、高出力 EV 等の議論は ISM 帯としての分配を含め将来の WRC で議論すべき。

2.2 無線通信業務の保護

入力文書：1A/129(CISPR SC-H)

出力文書：1A/TEMP/55(Rev.1)

(1) 主要結果

入力文書 1A/129 (Liaison to ITU-R on the Database for the protection of radio services) に関しては ITU-R 以外で無線業務のデータベースを作成することはリスクや困難があるとして、CISPR に対してウェブサイトから最新の ITU-R 勧告及びレポートを参照することを提案するリエゾン文書を発出した。

2.3 不要放射

入力文書：1A/114 (WP 4A), 116 (WP 5D), 138 (GER), 139 (Austria , Croatia, Denmark , Finland , Germany, Netherlands, Slovenia, Switzerland, UK), 144 (GER), 147 (CAN)

出力文書：1A/TEMP/ 75, 76

(1) 主要結果

- 1) 「広帯域通信システムに使用するデジタル変調技術の帯域外およびスプリアス領域の不要輻射特性」に関する新 Question の草案と関連作業文書の議論を行った。GER (CEPT) から提案された新 Question 草案入力文書(1A/138)およびカナダからのコメント入力(1A/147)は次回会合に繰り越しとなるとともに、コメント入力 が求められた。
- 2) この研究には多くのサポートがあった。新レポート草案 ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED] の作業文書(1A/TEMP/76)は入力文書 1A/139 と 1A/144 を基に修正された。この新しい活動は関連 WP(WP 1B, 1C, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D)にリエゾン(1A/TEMP/75)で通知されることになった。

2.4 Rec. ITU-R SM.1541

入力文書：(なし)

出力文書：1A/TEMP/ 72, 74

(1) 主要結果

WP6A からのリエゾンへの返信として、Rec. ITU-R SM.1541 のエディトリアル修正を行った。内容は ITU-R の報告書と勧告の改定への今日では不要なレファレンスを削除する内容である (1A/TEMP/72)。リエゾン文書 (1A/TEMP/74) が用意され、修正内容とともに、SG1 へ発出することになった。

2.5 レーダー一周波数利用効率向上のための改良された帯域外ロールオフ特性

入力文書：1A/122 (WP 5B)

出力文書：1A/TEMP/73

(1) 主要結果

WP5B からの「レーダー一周波数利用効率向上のための改良された帯域外ロールオフ特性」に関するリエゾン (1A/122) が検討された。しかしながら、現時点では WP5B の状況に変化があれば通知してもらうこととし、アクションはとらないこととした。リエゾン返信案 (1A/TEMP/73) にはその旨記載されており、WP1A で審議してもらうこととした。

3 Working Group 1A-3 : CAT ハンドブックとその他の課題（議長:

Ms. B. Sykes（米国）

3.1 CATハンドブック

入力文書：1A/145 (R&S), 1A/148 (RG Rapporteur), 1A/149 (韓国)

出力文書：1A/TEMP/58

(1) 主要結果

今会合では 2 件の寄書と RG への寄書 1 件を審議するとともに、1 月の RG 会合の結果の見直しを行い、ハンドブックの各 Chapter、各 Annex、Glossary の全ての文書の審議が終了し、SG1 に送付した。

(2) 審議概要

1) CAT ハンドブック草案に向けた作業文書

入力文書：1A/145 (R&S), 1A/148 (RG Rapporteur), 1A/149 (韓国)

出力文書：1A/TEMP/58

RG レポーターが不在であったが、議長から RG レポートの紹介があった。これに対して、イスラエルからマーケットと関連すると思われるテキストについては削除することが前回合意されていたとの指摘があった。

韓国からの寄書に対してイスラエルからライセンス、データベース等が欠落しており単なるツールの紹介でないかとの指摘と、タイトルにある Intelligence の Engineering への変更提案もあったが、Annex 7 として追加することが合意された。

R&S からの寄書に対しては、米国から各 Annex にはスペクトラム管理を中心に記載するガイドラインがあるのに対して、スペクトラム監視の項目が多すぎるように見受けられるとの指摘があり、さらに TCI が担当した Annex では多くの項目がスペクトラム管理に関する内容であるとの説明があったために、監視の部分を削除することになった。さらに TCI から図 6 が本文で全く触れられていないために削除の提案が行われ、議長からも Annex 作成のガイドラインはページ数を削減すること、スペクトラム管理とスペクトラム監視の混在を避けることであるとの発言を受けて、図 6 の削除と追加文書の削除が行われ、Annex として追加することが合意された。

ATDI からの RG への寄書については、米国から箇条書きの構成では情報が少ないこと、さらに寄書の内容が ATDI のホームページからのコピーが多くみられるとの指摘があり、さらにロシアからの技術情報を追加した方がベターとの発言があったために、修正を行い Annex として追加することが合意された。

TCI が入力した Annex に対して、「TCI の監視システムも他のシステムに使用されている」との情報を追加したいとの発言が TCI からあったために、追加されてその Annex の内容も合意された。

特に、議論のあった Annex に関する審議概要を下記に記す。

Annex 4 では、イスラエルから広告的な表現を使わないことがすでに合意されているはずであるとの指摘があったが、ロシアからは本内容は前ハンドブックでも使われており問題がないとの回答があった。さらに米国からも商業的な資料は見当た

らないとの発言もあったために、一部エディトリアル修正して合意。

Annex 6 では、1月にすでに内容を改定しているとの説明が LStelcom からあった。アネックスの長さについても 8-10 ページ以内が、さらに体裁は ITU 事務局が整えることが確認された。

Annex 8 では、イスラエルから Annex の順番として主管庁ものから民間ものに並べ替える見直し提案あったためにその方向で修正することになった。

Annex 9 では、ここで説明されているアプリがアネックスの内容として適切かどうかの質問がイスラエルからあったが、ロシアからスペクトラム監視用アプリとの回答があり、合意された。

Glossary : 掲載すべき用語の範囲について、ロシアと米国からは初心者を対象とすべき、スウェーデンからはそれなりの知識を有する者を対象とすべきとの発言があったが、議長からは BR からのコメントをすでに反映しているとの説明があったために、現行案でまとめることが合意された。

3.2 275-1000GHz帯における能動業務

入力文書 : 1A/156(日本)

出力文書 : 1A/TEMP/57, 68, 69

(1) 主要結果

日本から入力した改定案が合意され、米国からのコメントを反映した作業文書の新レポート草案への格上げを行った。さらに、IEEE へ情報提供を求めるための、WP7C と WP7D へコメントを求めるためのリエゾン文書を送付した。

(2) 審議概要

1) 275GHz 以上で運用される能動業務に関する新レポート草案に向けた作業文書

入力文書 : 1A/156(日本)

出力文書 : 1A/TEMP/57

日本からの提案に対して、米国からエディトリアルな修正と新セクション 6「受動業務との共用のための初期検討」の追加提案があった。さらにレポート草案への格上げ提案についても米国からの支持があり、合意に至った。なお、新セクションについては editor's note が追加され、各主管庁に対して 275-1000GHz 帯での共用検討結果があれば提供することが依頼されている。

2) 275GHz 以上で運用される能動業務に関する新レポート草案に向けた作業文書に関するリエゾン文書

入力文書 : 1A/156(日本)

出力文書 : 1A/TEMP/68, 69

レポート草案のセクション 5 では、ITU 以外の国際標準化機関での 275GHz 以上の周波数帯における標準化動向を掲載するために、IEEE802.15.3d で行われている情報を提供してもらうためのリエゾン文書を日本と米国で作成した。さらに関連 WP として WP7C と WP7D にレポート草案の内容に関してコメントを求めるリエゾン文書を日本と米国で作成し、送付した。

なお、プレナリーではイスラエルから 275GHz 以上の周波数帯では能動業務への分配が行われていないこと明確にするために、IEEE へ送付するリエゾン文書の第 1 パラグラフでの「275GHz 以上の周波数帯」を「275GHz 以上の受動用周波数帯」とする変更提案が行われたが、原案で合意された。

3.3 Rec. ITU-R SM.1132

入力文書 : Annex 17 to Doc. 1A/105 (Rev.1)

出力文書 : 1A/TEMP/54

(1) 主要結果

勧告改定草案に格上げされた。

(2) 審議概要

1) 勧告 SM.1132-2 の改定草案に向けた作業文書

入力文書 : Annex 17 to Doc. 1A/105 (Rev.1)

出力文書 : 1A/TEMP/54

今会合では入力文書はなかったが、米国提案によって作業文書から勧告改定草案に格上げされた。

3.4 WP1Aに割り当てられているITU-R勧告の重要な要素の識別

入力文書 : 1A/157 (SG1 Co-Rapporteurs)

出力文書 : なし

(1) 主要結果

特段の議論なくノートされた。

表-2 入力文書一覧

文書 番号 1A/	提出元	表題	
105	Chairman, WP1A	REPORT OF THE MEETING OF WORKING PARTY 1A	WP1A 会合の報告
106	WP 3L	Liaison statement to Working Party 1A - Noise characteristics of PLT devices	PLT 機器のノイズ特徴についての WP1A へのリエゾン文書
107	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties 1A, 1B, 4A and 5A for information) - Status of compatibility study between FSS networks and IMT systems in the band 3 400-3 600 MHz for small cell deployments	スモールセル展開のための 3400-3600 MHz 帯の FSS ネットワーク及び IMT システム間の互換性研究状況についての JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書
108	ITU-T SG 15	Liaison statement on determination of the ITU-T G.fast PSD specification	ITU-T G-fast PSD 仕様についてのリエゾン文書
109	JTG 4-5-6-7	Liaison statement to Working Party 5D (copy for information to WPs 1A and 6A) - Adjacent band compatibility between the IMT uplink and digital terrestrial television (DTT) broadcasting under WRC-15 agenda item 1.2	WRC-15 議題 1.2 の IMT アップリンク及び DTT ブロードキャスト間の互換性の隣接帯域についての WP5D へのリエゾン文書
110	WP 7D	Liaison statement to Working Party 1A - Coexistence of wired telecommunication (including PLT) with radiocommunication systems - Streamlining future cooperation within ITU-R and liaison with ITU-T	PLT を含む有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書ー将来の ITU-R の中での協力と ITU-T とのリエゾン
111	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076	勧告 ITU-R M.1076 のドラフト改定に関するリエゾン文書
112	ITU-T JCA-AHF	Liaison statement on draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 "Wireless communication systems for persons with impaired hearing" (reply to Document 5B/110)	勧告 ITU-R M.1076(聴覚障害者のための無線通信システム)のドラフト改定に関するリエゾン文書 (Doc 5B/110 への返信)
113	Director, BR	CISPR letter on the use of the band 8.3-9 KHz	8.3-9KHz 帯の利用に関する CISPR 文書
114	WP4A	Liaison statement to Working Party 5D (copy to Joint Task Group 4-5-6-7 and Working Party 1A) - Start of work towards two preliminary draft new Recommendations ITU-R M.[IMT.OOBE.X] on generic unwanted emission characteristics of base stations and mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-Advanced	WP5D 宛リエゾン文書: IMT-Advanced 地上系無線インタフェースを用いる基地局と移動局の一般的な不要輻射特性に関する 2 つの新勧告草案に向けた作業の開始

文書 番号 1A/	提出元	表題	
115	CISPR	Reply to Working Party 1A liaison statement on study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の研究に関する WP1A リエゾン文書への返信
116	WP5D	Liaison statement to Working Party 4A (copy to JTG 4-5-6-7 and WP 1A) - Summary of generic unwanted emission characteristics found in Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581 (IMT-2000) and preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[IMT.OOBE X] (IMT-ADVANCED)	WP4A 宛リエゾン文書(JTG 4-5-6-7 と WP1A へコピー) : 勧告.ITU-R M.1580 と M.1581 (IMT-2000)と新勧告草案 ITU-R M.[IMT.OOBE X] (IMT-ADVANCED) の一般的不要輻射特性のまとめ
117	WP5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to all concerned Groups under WRC-15 agenda item 1.1 (Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C, 7D, 3K, 3M, and Working Party 1A)) - Sharing parameters for WRC-15 agenda item 1.1	WRC-15 議題 1.1 のためのパラメータの共有についての JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書
118	IEC-TC100	Technical Committee 100: Audio, video and multimedia systems and equipment Technical Area 15: Wireless power transfer - Response to the liaison statement of ITU-R Working Party 1A study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	TC100 TA15: ワイヤレス電力伝送—WP1A Question ITU-R 210-3/1 に関するリエゾン文書への回答
119	ITU-T SG 9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Consideration with respect to work on Recommendation ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ)	有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書- 勧告.ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ) の働きに関する考慮
120	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1A and ITU-T Study Groups 9 and 5 (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B, 5C & 5D) - Coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU T J.195.1 (J.HINOC-REQ)	WP1A と ITU-T SG9 および 5 へのリエゾン文書 (および ITU-R WP5A, 5B, 5C & 5D への情報) - 有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書- 勧告.ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ) の働きに関する考慮
121	WP6A	Liaison statement to Working Party 1A & ITU-T Study Group 15 (and for information to ITU-R Working Parties 5A, 5B & 5C) - Considerations on wired telecommunication systems being developed under G.Fast	WP1A と ITU-T SG15 へのリエゾン文書 (および ITU-R WP 5A, 5B, 5C への情報) - G.Fast の下での開発される有線通信システムの考慮
122	WP5B	Liaison statement to Working Party 1A - Continuing studies towards improved out-of-band roll-off for radars to enhance spectrum efficiency	WP1A 宛リエゾン文書: レーダー周波数利用効率向上のための改良された帯域外ロールオフ特性に向けた研究の継続

文書 番号 1A/	提出元	表題	
123	WP5B	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A and ITU-T Study Groups 5, 9 & 15 for action (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D for information) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendations ITU-T G.fast and ITU-T J.195 (J.HINOC-REQ)	ITU-R WP1AとITU-T SG 5, 9および15へのリエゾン文書（およびITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7Dへの情報）- (PLTを含む)有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書- 勧告 ITU-T G.fast およびITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ) の働きに関する考慮
124	WPs 5A and 5C	Liaison statement to ITU-T Study Group 9 (copy for information to ITU-R Working Parties 1A, 5B and 6A) - Coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU-T J.195.1 (J.HiNoC-REQ)	ITU-T SG 9へのリエゾン文書（およびITU-R WP1A, 5B, 6Aへの情報）-有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書 - 勧告 ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ) の働きに関する考慮
125	WPs 5A and 5C	Liaison statement to ITU-R Study Group 15 (copied for information to ITU-R Working Parties 1A, 5B, 5D and 6A) - Determination of the ITU-T G.fast PSD specification	ITU-R SG15へのリエゾン文書（およびITU-R WP1A, 5B, 5D, 6Aへの情報）- ITU-T G.fast PSD仕様の決定
126	ITU-T SG 9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	有線通信と無線システムの共存についてリエゾン文書
127	ITU- T SG 5	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	有線通信と無線システムの共存についてリエゾン文書
128	WP1B	Liaison statement to Working Parties 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 7B, 7C, 7D and CCV - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 7B, 7C, 7D and CCV 宛リエゾン文書：コグニティブ無線技術を用いる無線システムによる周波数動的アクセスのための周波数管理の原理と周波数工学技術
129	CISPR SC-H	Liaison to ITU-R on the Database for the protection of radio services	無線サービス保護のためのデータベースに関するITU-R宛リエゾン文書
130	WP 4C	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 and ITU-R Working Party 1A (copy to ITU-R Working Party 5B for information) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunications systems - consideration with respect to work on Recommendation ITU-T G.fast	ITU-T SG15およびITU-R WP1Aへのリエゾン文書リエゾン文書（およびITU-R WP5Bへの情報）-(PLTを含む)有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書- ITU-T G.fastの働きに関する考慮

文書 番号 1A/	提出元	表題	
131	ITU-T JCA-IoT	Liaison statement on IoT-Roadmap, IoT-work program, contacts and invitation to participate in IoT-GSI events	IoT-Roadmap 等に関するリエゾン
132	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1A - Copy to Working Parties 1C, 5A, 5B, 5C and ITU-T Study Group 5 - Recommendations ITU-T K.60 and K.mhn - Coexistence of wired and wireless communication systems	WP1A へのリエゾン文書- WP1C, 5A, 5B, 5C, ITU-T SG 5 への情報) - 勧告 ITU-T K.60 および K.mhn - 有線通信と無線システムの共存
133	APT	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A	WP1A 宛リエゾン文書
134	ITU-T SG 15	Liaison statement on considerations on wired telecommunication systems being developed under G.fast	G.fast の下での開発される有線通信システムについてのリエゾン文書
135	TTA	Response to liaison statement to external organizations sent out by Working Party 1A regarding Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	WP1A 発外部団体宛 Question 210-3/1 "WPT"に関するリエゾン文書への返信
136	WP7D	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Parties 1A, 7B and 7C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP 1B へのリエゾン文書(WP1, 1B, 7B, 7C へ情報としてコピー) : コグニティブ無線技術を用いる無線システムによる周波数動的アクセスのための周波数管理の原理と周波数工学技術に関する新レポート草案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書
137	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B - Revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management"	"National Spectrum Management"ハンドブック改訂に係る WP1A 及び 1B へのリエゾン文書
138	GER	Preliminary draft new Question ITU-R [UWTD_DIG_MOD]¥1 - Characterisation of the unwanted emissions in the spurious domain for digital modulation technology	新研究課題草案 ITU-R [UWTD_DIG_MOD] : デジタル変調技術のスプリアス領域における不要輻射特性評価

文書 番号 1A/	提出元	表題	
139	Austria , Croatia, Denmark , Finland , Germany, Netherlands, Slovenia, Switzerland, UK	Proposal for a new working document towards a preliminary draft new Report SM.[CHAR-UNWANTED] on the characterisation of the unwanted emission in the spurious domain for broadband digital technology	広帯域デジタル技術のためのスプリ アス領域の不要輻射特性評価に関する 新 レポ ー ト 草 案 SM.[CHAR-UNWANTED] に向けた新 作業文書の提案
140	CHN	Proposal for management policy of wireless power transmission devices	WPT 機器の周波数管理方針に関する提 案
141+Add.1	CG-WPT (Chairman)	Chairman's Report	CG-WPT 議長報告
142	A4WP	Response to Working Party 1A Liaison Statement to External Organizations - Wireless power transmission (WPT) systems	外部団体宛 WP1A リエゾン文書(WPT システム)への 返信
143	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.	Comments on working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[SMART_GRID]	新 レポ ー ト 草 稿 ITU-R SM.[SMART_GRID に向けた作業文章 についてのコメント
144	GER	On the characterization of unwanted emissions of digital systems	デジタルシステムの不要輻射の特性化 について
145	Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG	Integrated automated spectrum management and monitoring systems solution	自動スペクトラム管理・監視システムの 統合化ソリューション
146	Rapporteur, RG wired and radio	Recent developments concerning coexistence of wired telecommunication systems with Radiocommunication systems	有線通信システムと無線通信システム の共存についての最近の発展
147	CAN	Characterization of the unwanted emissions in the spurious domain for digital modulation technology	デジタル変調技術のスプリアス領域 の不要輻射特性化

文書 番号 1A/	提出元	表題	
148	Rapporteur, RG CAT Handbook	Report of the Rapporteur Group on the revision of the ITU-R Handbook on "Computer aided techniques for spectrum management (2005)"	CAT ハンドブックの改定に関するラポーターグループからの報告
149	KOR	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU-R Handbook on Computer-Aided Techniques for Spectrum Management (CAT)	CAT ハンドブックの改定草案に向けた作業文書
150	KOR	Working document towards a preliminary draft new Recommendation SM.[WPT] - Wireless Power Transmission (WPT) systems	新勧告草案 SM.[WPT]に向けた作業文書
151	KOR	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transfer using magnetic induction and magnetic resonance technologies other than radio frequency beam	新レポート草案 SM.[WPT.NON-BEAM] に向けた作業文書
152	JPN	Coexistence studies on the systems using wireless power transmission technologies with incumbent radiocommunication systems in Japan for the development of preliminary draft new Report on wireless power transmission	WPT 新レポート草案のための WPT 技術を用いるシステムと日本の既存無線通信システムとの周波数共存検討
153	JPN	Proposed revision of the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	新レポート草案 SM.[WPT.NON-BEAM] に向けた作業文書の改定提案
154	JPN	Measured data for co-existence studies on wireless power transmission technologies with the incumbent radio systems in Japan	WPT 技術と日本の既存無線システムとの周波数共存検討のための測定データ
155	JPN	Proposed revision of working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT] - Wireless power transmission (WPT) systems	新勧告草案 SM.[WPT]に向けた作業文書の改定提案
156	JPN	Proposed revision of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ.TREND] - Technology trends of active services in the band above 275 GHz	ITU-R レポート SM.[THZ_TREND]草案 に向けた作業文書の改定案
157	SG 1 Co-Rapporteurs	Interim Report to Working Parties 1A and 1C on the work of the Study Group 1 Co-Rapporteurs on the review of ITU-R Recommendations in the SM Series for the database on ITU-R Recommendations	SM シリーズ ITU-R 勧告の見直しに向けた SG1 ラポーターの作業に関する WP1A と WP1C への中間報告
158	WP5B	Liaison statement to ITU-T Study Groups 5, 9, 15 and ITU-R Working Party 1A (copied for information to ITU-R Working Parties 5A, 5C, 5D and 6A) - Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	ITU-T SG 5, 9, 15 および ITU-R WP1A へのリエゾン文書-(WP 5A, 5C, 5D, 6A への情報転送) -有線通信と無線システムの共存についてのリエゾン文書

文書 番号 1A/	提出元	表題	
159	WP5B	Liaison statement to Working Parties 1A, 5A, 5C and 5D regarding development of a Report on out-of-band emissions in the 2 700-2 900 MHz frequency band from service operating below 2 690 MHz	2 690 MHz より下の帯域で運用される業務からの 2700-2900 MHz 帯レーダーへの帯域外発射に係るレポートの作成に関する WP 1A, 5A, 5C 及び 5D へのリエゾン文書
160	ITU-T SG9	Liaison statement on additional information on regional regulations related to coexistence of wired telecommunication with radiocommunication systems	有線通信と無線システムの共存に関連する地域の規則化についての付加情報のリエゾン文書
161	ITU-T SG9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	有線通信と無線システムの共存に関するリエゾン文書
162	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1A/105 - 1A/162)	入力文書リスト (文書 1A/105 - 1A/162)
163	Chairman, WP1A	Conclusions from the steering committee (Monday, 2 June 2014)	ステアリングコミッティの結果
164	WP1C	Note from the Chairman of Working Party 1C to the Chairman of Working Party 1A - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Contact point for Working Party 1C	(PLT を含む)有線通信と無線システムの共存に係る WP1C のコンタクトポイントに関する WP1C 議長から WP1A 議長への覚書
165	Director, BR	Final list of participants - Working Party 1A (Geneva, 3-11 June 2014)	WP1A 最終参加者リスト

表-3 出力文書一覧

文書 番号 1A/ TEMP/	表題		備考 (提出元)
54	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1132-2 - General principles and methods for sharing between radiocommunication services	ITU-R 勧告 SM.1132-2 改定草案	WP1A-3
55 (Rev.1)	Liaison Statement to CISPR (copy to ITU-R Working Party 6A) - A database for the protection of radio services	無線サービスの保護に係るデータベ ースに関する CISPR へのリエゾン文書案 (ITU-R WP6A へ情報提供として送付)	WP1A, WP1B
56(Rev. 1)+Corr .1	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	新 レポ ー ト 草 案 ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM]	WP1A-2
57	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ.TREND] - Technology trends of active services in the band above 275 GHz	ITU-R レポート SM.[THZ_TREND]草案	WP1A-3
58	A draft revision of ITU Handbook on computer-aided techniques for spectrum management (CAT) dated 10 June 2014	スペクトラム管理用 CAT ハンドブック の改定案	WP1A-3
59	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R SM.[SMART_GRID] Smart grid power management systems	新 レポ ー ト 草 案 ITU-R SM.[SMART_GRID] – Smart grid パ ワーマネージメントシステム	WP1A-1
60	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 AND COPY FOR INFORMATION TO IEC (TC57 WG20) Cooperation on the narrow-band PLT component of the Smart Grid project	ITU-T SG15 向け (IEC(TC57 WG20) 向け情報) リエゾン文書 Smart Grid プ ロジェクトの狭帯域 PLT に関する協力	WP1A-1
61	LIAISON STATEMENT TO EXTERNAL ORGANIZATIONS Preliminary draft new ITU-R Report on the Smart Grid project	外部機関宛リエゾン文書 Smart Grid プロジェクトに関する新レポート草案	WP1A-1
62	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 AND CENELEC, AND COPY OF INFORMATION TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D - Ensuring that telecommunication systems that depend on the use of radio frequencies have been properly assessed for compatibility and the avoidance of harmful interference	ITU-T SG15 宛 リエゾン文書 (ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピ ー)-- 甚大な干渉との等価性と回避性 を適切に評価された電波周波数の使用 による電気通信システムの保障	WP1A-1

文書 番号 1A/ TEMP/	表題		備考 (提出元)
63	DRAFT LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 3L COPY TO ITU-R WORKING PARTIES [1C, 5A, 5B, 5C, 7D?] - Noise Characteristics of PLT Devices	WP3L 宛リエゾン文書(ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー)-- PLT デバイスのノイズ特性	WP1A-1
64	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15, AND 5 COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D FOR INFORMATION Excessive levels of radio frequency noise in the environment	ITU-T SG15 および 5 宛リエゾン文書 (ITU-R WP1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘ情報としてコピー) - 環境の中の電波周波数ノイズの超過レベル	WP1A-1
65	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 4C, 5A, 5B, 5C, 7D Considerations on the G.9700 power spectral density (PSD) limit mask	ITU-T SG15 宛リエゾン文書(ITU-R WP 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘコピー)-- G.9700 パワースペクトル密度 (PSD) リミットマスクの考慮	WP1A-1
66	DRAFT LIAISON STATEMENT TO THE BROADBAND FORUM AND COPIES FOR INFORMATION TO ITU-T STUDY GROUP 15 AND ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D- Specifications and performance of cabling intended for use with G.fast	BROADBAND FORUM 宛リエゾン文書(ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘ情報コピー)-- G fast と共に使用しようとするケーブル仕様と性能	WP1A-1
67	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 9 AND 5,AND ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D - Leakage from radio frequency energy from J.HiNoC systems	ITU-T SG9 および 5 宛リエゾン文書 (ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D ヘ情報コピー)-- J.HiNoC システムからの電波周波数エネルギー漏洩	WP1A-1
68	Draft liaison statement to the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) - Preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ_TREND] - Technology trends of active services in the bands above 275 GHz	ITU-R レポート SM.[THZ_TREND]草案に関する IEEE へのリエゾン文書	WP1A-3
69	Draft liaison statement to Working Parties 7C and 7D - Preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ_TREND] - Technology trends of active services in the bands above 275 GHz	ITU-R レポート SM.[THZ_TREND]草案に関する WP7C と WP7D へのリエゾン文書	WP1A-3
70	Meeting Report for Working Group 3 - Computer aided techniques Handbook and other issues	WG3 議長報告	WP1A-3

文書 番号 1A/ TEMP/	表題		備考 (提出元)
71	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 5, WITH COPIES FOR INFORMATION TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D - ITU-R interest in K series recommendations	ITU-T SG5 宛リエゾン文書(ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 7D へ情報コピー) - Kシリーズの勧告へのITU-Rの関心	WP1A-1
72	Draft editorial modification of Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	勧告 ITU-R SM.1541-5 – 帯域外領域の不要輻射 – のエディトリアル修正ドラフト文書	WP1A-2
73	Draft liaison statement to Working Party 5B - Continuing studies towards improved out-of-band roll-off for radars to enhance spectrum efficiency	WP5B 宛ドラフトリエゾン文書 --- レーダー周波数利用効率向上のための改良された帯域外ロールオフ特性に向けた研究の継続	WP1A-2
74	Liaison statement to Working Party 6A - Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	WP6A 宛リエゾン文書 -- 勧告 ITU-R SM.1541-5 – 帯域外領域の不要輻射	WP1A-2
75	Draft liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D (copy to Working Parties 1B and 1C) - Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communication systems	WP 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D 宛ドラフトリエゾン文書(WP 1B, 1C へコピー) – 広帯域通信システムに用いられるデジタル変調技術のための帯域外とスプリアス領域の不要輻射特性	WP1A-2
76	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED] - Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communication systems	新レポート草案 ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED] – 広帯域通信システムに使用されているデジタル変調技術のための帯域外とスプリアス領域の不要輻射特性 -- に向けた作業文書	WP1A-2
77	Terms of Reference (ToR) for a Correspondence Group (CG-WPT) on developing content for deliverables related to Question ITU-R 2103/1 Wireless Power Transmission	Question ITU-R 210-3/1 WPT 関連成果物策定のための CG-WPT 参照規約 (ToR)	WP1A-2
78	Reply liaison statement to CISPR (copy to ISO/IEC TC 69/JPT 61980-1 and ISO TC22) - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	CISPR 宛 (ISO/IEC TC69/JPT 61980-1, ISO TC22 へコピー) 返信リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2

文書 番号 1A/ TEMP/	表題		備考 (提出元)
79	Reply liaison statement to the Alliance for Wireless Power - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	A4WP 宛 返信リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
80	Reply liaison statement to Asia Pacific Telecommunity - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	APT 宛 返信リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
81	Liaison statement to external Organizations - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission related to wireless power transmission via radio frequency beam	外部団体宛リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"に関する周波数ビームによる WPT の検討状況	WP1A-2
82	Reply liaison statement to CISPR (copy to ISO/IEC TC 69/JPT 61980-1 and ISO TC22) - Study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	CISPR 宛 (ISO/IEC TC69/JPT 61980-1, ISO TC22 ヘコピー) への返信リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
83	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT] - Wireless Power Transmission (WPT) systems	新勧告草案 ITU-R SM.[WPT] – WPT システム に向けた作業文書	WP1A-2
84	Liaison statement to external Organizations - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	外部団体宛リエゾン文書 --- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
85	Reply liaison statement to IEC TC100 [(copy to ISO/IEC TC 69/JPT 61980-1 and ISO TC22)] - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	IEC TC100 宛 (ISO/IEC TC 69/JPT 61980-1, ISO TC22 ヘコピー) 返信リエゾン文書--- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
86	Reply liaison statement to Telecommunications Technology Association - Study on Question ITU-R 210-3/1 - Wireless power transmission	TTA 宛 返信リエゾン文書--- Question ITU-R 210-3/1 "WPT"の検討状況	WP1A-2
87	Meeting Report for Working Group 2 - Wireless power transmission, radio protection and unwanted emissions	WP1A-2 報告書 – WPT、無線保護、不要輻射	WP1A-2

2014年6月 ITU-R WP1B 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP1B 会合
 (周波数管理手法に関する作業部会)
- 【会 期】 2014年6月3日(火)～6月11日(水)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概 要】

本会合は今研究期間における第4回会合である。CPM テキスト案の作成締め切り前最後の会合であったことから WRC-15 議題の中で WP1B が所掌する議題(議題 9.1.4、9.1.6、9.1.7)に係る審議を重点的に実施し、すべての議題に関する CPM テキスト案を完成させたほか、長期間にわたって改訂作業を続けてきた勧告 ITU-R SM.1603-1 (Spectrum redeployment as a method of national spectrum management)、報告 ITU-R SM.2012-3 (Economic aspects of spectrum management)、National Spectrum Management (NSM) ハンドブック、勧告 SM.1413-2 : Radio communication Data Dictionary (RDD)の改訂文書が完成し、いずれも SG1 に上程された。なお、WG1B-1 および WG1B-2 から SG1 に上程された文書はなかった。

本会合には42ヶ国の主管庁と4のROA (Recognized Operating Agencies)、13のSIO (Scientific or Industrial Organizations)などから計133名が参加した。日本からは宮澤氏、白井氏(総務省)、小川氏(ARIB)、森氏(ワシントンコア)の合計4名が参加した。

韓国、中国、米国、ロシア、オランダなどからの入力文書及び前回の議長報告と他SGグループからのリエゾン文書を含め合計47件の入力文書が審議され、17件の出力文書が作成された。

本会合では前回会合と同様に3つのWorking Group (WG)が設置され、各議題についての審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

また、表-2に入力文書一覧を、表-3に出力文書一覧を示す。

表-1 WP1B の会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1B 議長 : Mr. N. Al-Rashedi 氏 (UAE)
Working Group 1B-1 議長 : Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D)) 担当 : ショートレンジデバイスとその関連事項
Working Group 1B-2 議長 : Mr. N. Al-Rashedi 氏 (UAE) 担当 : WRC-15 関連事項
Working Group 1B-3 議長 : Mr. R.Chang (CHN) 担当 : その他の事項

1 Working Group 1B-1 ショートレンジデバイスとその関連事項

(議長: Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D))

入力文書 : 1B/132 (Annexes 7 and 11), 136(WP4A), 137(WP5D), 140(WP4C),
142(WP6A), 145(ICA0), 147(WP7B), 148(WP7C), 149(WP7D), 153(ロ
シア), 156(中国), 159(オランダ), 161(米国), 162(ドイツ), 164(カナダ),
170(WP5C), 171(フランス), 173(WP5B), 174(WP5A), 175(ATDI)

出力文書 : 1B/TEMP/80, 81, 82, 83, 86

【主要結果】

入力文書および審議の多くはコグニティブ無線システム及び周波数共用アクセスに関するものであった。ロシアが主導してきた Dynamic spectrum access に関するレポート作成は、DSA の用語を新たに「Cognitive dynamic spectrum access(CDSA)」とし、レポートの範囲はスペクトラム管理の原理原則に限定するとした上で、主題についても WP1A の所掌と重複を避けるために Spectrum engineering という記載を削除し「Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities」と改められた。これらの審議状況に関するリエゾン文書が発出され、レポート作成に向けた審議を次回会合にて継続することで合意された。なお、本会合において SG1 に上程された勧告、報告案はなかった。

1.1 ショートレンジデバイスと関連事項

入力文書 : 1B/159 (オランダ)

出力文書 : なし

① SRD UWB ワークショップ

2014 年 1 月に開催された CRS ワークショップに続き、本会合の初日に SRD UWB に関するワークショップが SG1/WP1B の主催により開催された。各国地域組織からの代表者が講演者として参加し¹、ITU-R における SRD に関する活動の概要、各地域における SRD の周波数ハーモナイゼーションの状況、RFID、UWB の動向等について情報

¹ 各講演者によるプレゼンテーション資料:

<http://www.itu.int/en/ITU-R/study-groups/workshops/RWP1B-SRD-UWB-14/Pages/Presentation.s.aspx>

交換され、SRD のグローバルハーモナイゼーションの重要性が再確認された。ワークショップにおける主な質疑応答は以下の通りであった。

1) SRD の周波数ハーモナイゼーション

RFID などの様々な SRD 機器が各国において様々な周波数で利用されている。周波数ハーモナイゼーションの観点から各国のこれらの状況を収集することが重要である。CEPT では現在、各国主管庁から情報を収集し、これをデータベース化する予定であり、他の地域組織も参考にできるのではないかとこの観点から紹介された。RCC においても現在、SRD に関する報告を作成中であり、その過程で各国における周波数の割当状況に関する情報もあわせて収集する予定である。

また、SRD は各国主管庁や様々な利用者の間において多種多様に定義されていることが再確認された。そのため周波数ハーモナイゼーションを議論する前に、どのような利用が SRD の範疇に入るのかという点を定める必要があるとの見解があった。特に、現在、様々なアプリケーションが SRD に含まれている状況であるが、今後は個別のアプリケーションごとに議論を進め、それぞれに適した周波数や運用規則等を審議していく必要性が周知された。中でも医療アプリケーションについてはグローバルな観点からその定義を定め、周波数ハーモナイゼーションの確立を通じて、無線を活用した医療の発展に寄与していくべきであるとされた。

2) WPT との関連性

BBC 関係者は ITU は気候変動問題の解決に寄与する責務を負っている点に言及した上で、WPT とは 15~20% の電力が無駄になる仕組みであり、世界中の携帯電話が WPT を使うことになれば膨大な量の電力が無駄になることを意味することから、気候変動問題への対処を検討すべき ITU がこのような非効率な技術を奨励することには賛同できないとした。さらに、WPT は様々な家電機器等に搭載されるものであり、これらが使う周波数を定めるのは ISO の役割であると言及した上で、ITU がこれに介入するのはそもそもその所掌からずれているとし、ITU-R において WPT に関する事項を検討していることそのものについて疑義を呈した。これに対し、韓国が、現在、様々な観点から WPT の技術的研究が実施されており、電力の無駄も極力最小限に抑えられるような技術革新が今後、期待されていること、WP1A においては既に数年前に周波数ハーモナイゼーションという観点から WPT が使う周波数についても ITU-R が関与することが必要であろうとの共通見解に至った経緯を踏まえ、現在審議が進行中であるとの歴史的経緯が説明された。

② 200-600GHz の周波数帯の中で 100GHz 帯をチップ内通信へ分配する提案

(1) 主要結果

WP1B-1 としては作業を行わずに、当面 WP1A-3 の 275GHz 帯以上の能動業務の技術動向に関するレポート草案の動向を注視し、その結果によって SRD のハーモナイゼーション等の作業を開始するか判断を行うという結論で、本寄書はノートされた。

(2) 審議概要

200-600GHz の周波数帯の中で 100GHz 帯をチップ内通信へ分配する提案に関する寄書に対して、米国からは WP1B のスコープは Spectrum management methodology であり、RR No.5.565 の研究はスコープ外であること、WP1A で作業中の 275GHz 帯以上の能動業務の技術動向に関するレポート草案の作業との重複があること等の指摘があった。これに対してオランダから、SRD のハーモナイゼーションが目的であるために決議 54 に関連していること、ロシアからも SRD のハーモナイズ周波数は現在の勧告あるいはレポートに追加できるので WP1B の作業としては問題ないとの指摘もあった。

一方 WP1A-3 の Sykes 議長(米国)からは、WP1A には 275GHz 以上についての新研究課題があること、さらに 275GHz 以上に関するレポートの作成作業が行われているとの状況説明があった。

以上の議論を踏まえて、議長から本寄書をノートし、当面の間、WP1B では新たな作業は行わず、WP1A の作業を見守り、WP1A の結果によっては SRD のハーモナイゼーションに関するレポートあるいは勧告の作成に向けた議論を再開すればよいとの提案があり、合意された。

1.2 コグニティブ無線システム及び周波数共有アクセス

入力文書：1B/132 (Annexes 7 and 11), 136 (WP 4A), 137 (WP 5D), 140 (WP 4C), 142 (WP 6A), 145 (ICAO), 147 (WP 7B), 148 (WP 7C), 149 (WP 7D), 153 (ロシア), 156 (中国), 161 (米国), 162 (ドイツ), 164 (カナダ), 170 (WP 5C), 171 (フランス), 173 (WP 5B), 174 (WP 5A), 175 (ATDI)

出力文書：1B/TEMP80, 81, 82, 83, 86

(1) 主要結果

新 ITU-R レポート「周波数の共同利用を促進するための革新的な規制事項」作成のための作業文書とレポート草案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書を議長報告に

添付した。さらにレポート草案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書に関するリエゾン文書を関連 WP に発出した。SRD 分類を行うためのアンケート調査とそのため
の CG の設置が承認された。

(2) 審議概要

1) スペクトラムの共同利用サポート用革新的規制ツール

入力文書：1B/171 (フランス)

出力文書：1B/TEMP/80

フランスから周波数の共同利用を一層促進させるための革新的な規制事項に関する ITU-R レポートを新たに作成する提案が行われ、審議の結果、本寄書に基づき作業文書が作成され、議長報告添付された。

2) レポート草案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書

入力文書：1B/136 (WP 4A), 137 (WP 5D), 140 (WP 4C), 142 (WP 6A), 145 (ICAO),
147 (WP 7B), 148 (WP 7C), 149 (WP 7D), 153 (ロシア), 156 (中国), 161
(米国), 162 (ドイツ), 164 (カナダ), 170 (WP 5C), 173 (WP 5B), 174
(WP 5A), 175 (ATDI)

出力文書：1B/TEMP/83

議長が各 WP からのリエゾン文書および各寄書のコメントを統合化したテキストを準備し、審議を行った。具体的には、追加されたコメントを文章として残すか、ノートとして文中に残すか、あるいは削除するか等の審議が行われた。特に、第 4.4 条及び脚注 5.340 についてはこのレポートでは含めないという暫定合意があったために、これに関する追加文書はすべて[]扱いとなった。ただし、ロシアからは説明のために第 4.4 条をリッファーすることまでは妨げないとの意見が出されていた。ATDI から提案された文書は Annex 4 として追加することがワーディングは別にして合意された。

Annex 1 は欧州から入力された寄書であったが、WP4C から White space device(WSD)を device employing dynamic spectrum access に変更する提案が行われていたが、Annex 1 は欧州での例を紹介している文書であるために、欧州で定義された用語までを変更する理由はないということで、WP4C からの提案は却下された。ただし文中にノートとして残すことにした。Annex 2 はロシアからの入力であるが、他の Annex との並びからロシアにおける例としてタイトルが変更された。Annex 3 は中国での例を紹介した寄書をベースにしたものであり、変更なく合意された

週末にフランスが中心となって Informal discussion が行われ、その結果も作業文書に反映することになった。主な変更点は下記の 3 点である。

- (1) レポートのタイトルを下記のとおり変更することとなった。旧タイトルには spectrum engineering の用語が使われており、WP1A のスコープとの重複を避け

るためにカナダが削除を求めていた。

旧タイトル : Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities

新タイトル : Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities

(2) Dynamic spectrum access の用語と定義を変更すること

Dynamic spectrum access の用語を Cognitive dynamic spectrum access(CDSA) の用語に変更することが提案された。その定義としては、「Dynamic Spectrum Access stands for “the capability of an equipment to operate on a temporary unused/unoccupied frequency implementing CRS capabilities and to move to another frequency in case of an emission of the primary user of the band is occurring」が提案されたが、US から IEEE の定義「The real-time adjustment of spectrum utilization in response to changing circumstances and objectives」がベターということで、2つの定義が併記され、次回の審議に持ち越された。

(3)このレポートはスペクトラム管理を原理原則とすることにフォーカスすべきであり、この観点から考えられる質問を踏まえて、文書の変更が提案された。なお、これらの質問は、このレポートを理解する上でのガイダンス的な役割もあるために、ロシアの提案によってスコープの前に掲載されることになった。

プレナリーにおいて、米国から DSAD についてのレポートでスペクトラム管理のガイドラインの作成は時期尚早であり、さらに DSA は技術であって無線業務ではない等の内容を Country note(statement)として議長報告に記載してほしいとの要請があり、了承された。

3) レポート草案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書に関するリエゾン文書

入力文書 : 1B/136 (WP 4A), 137 (WP 5D), 140 (WP 4C), 142 (WP 6A), 145 (ICAO), 147 (WP 7B), 148 (WP 7C), 149 (WP 7D), 153 (ロシア), 156 (中国), 161 (米国), 162 (ドイツ), 164 (カナダ), 170 (WP 5C), 173 (WP 5B), 174 (WP 5A), 175 (ATDI)

出力文書 : 1B/TEMP/82

米国から共用検討は WP1B では行わない点を強調するための文章の追加が提案されたが、すでに決議 58 の rsolves 3 で示唆されているために却下された後、軽微なエディトリアル修正を行って承認されたが、さらにプレナリーにおいても米国からのエディトリアル修正が行われた。

4) SRD 分類を行うための CG 設置

入力文書：なし

出力文書：1B/TEMP/81

SRD ワークショップの結果を受けて、SRD 応用の分類をアンケート調査で行うこと、さらにそのための CG の設置提案が行われ、議長からの推薦で ECO の Thomas Weber 氏が CG 議長に選ばれた。プレナリーでは、SG1 カウンセラからアンケート調査を成功させるために、WP1B のメーリングリストを使った周知を行うこと、さらにメーリングリスト未登録者のためにウェブ登録方法について紹介が行われた。

1.3 ワイヤレス電力伝送 (WPT)

入力文書：1B/155 (中国)

出力文書：なし (ただし、本議題に関連して WP1A から 1B/TEMP/79 を出力)

(1) 主要結果

ワイヤレス電力伝送の検討は WP1A-2 で行われているために、本寄書に関する作業は行わずにノートされた。ただし、WPT については WP1A 議長から WP1B 議長への連絡事項が WP1B の出力文書 (TEMP/79) の一環として含められた。同文書では、WP1A で作成中の新報告 ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] (WP1A/TEMP/56) は規制面での強制力はないものの、WPT の利用候補となる周波数情報や一部の主管庁における WPT に関する規制情報等が含まれているため、WP1B においてもその内容を確認することが奨励されており、WP1B においてノートされた。

2 Working Group 1B-2 WRC 関連事項 (議長: Mr. Al-Rashedi

(UAE))

入力文書：1B/132 (Annexes 4,5,6), 135 (WP 4A), 139 (WP 4C), 143 (WP 6A), 144 (WMO), 151 (CHN), 152 (CHN), 165 (CAN), 176 (WP 5A)

出力文書：1B/TEMP/73, 74, 75

【主要結果】

WP1B が所掌する議題 9.1 の 3 件の Issue に関する CPM テキスト案が完成した。議

題 9.1.4 については入力文書がなく、CEPT 提案により NOC が追加された上で最終化された。議題 9.1.6 についてもこれまでの審議結果が支持され、定義変更は不要であるとする結論が採択された。一方、議題 9.1.7 については前回会合においてドイツの提案を基に唯一の Option（決議 647 を削除し決議 644 を修正する）が作成されていたが、今回、カナダ、中国からの入力文書を受け、決議 644 を削除する案、決議 647 を修正する案が追加され、合計 3 つの Option が記載される形で CPM テキスト案が完成した。

2.1 議題9.1.4(無線通信規則の更新と再構成(WRC決議67))

入力文書：1B/132(Annex 4)

出力文書：1B/TEMP/73

(1) 主要結果

本議題に関しては本会合への入力文書がなかったことから前回会合の議長報告（1B/132）Annex 4 の内容を確認、審議した。その際、Issue A の Article 2 の修正提案（メトリック表記の削除）については英国の提案により NOC が追加された。一方、Issue B の RR の条項タイトルの修正についてはこれまでの議論において現状の記載よりも修正した方が各条項の内容が明瞭になるとの理由から NOC は不要であるとする事で合意されてきたが、スウェーデンより CEPT が CPM において Issue A および Issue B の両方において NOC を提案する予定である点が紹介され、Issue B にも NOC が記載されていた方が CPM における議論を効率的に進められるとしたことから、いずれの Issue においても NOC が追加されることで合意された。上記の修正を経て、CPM テキスト案が完成した。

2.2 議題9.1.6(固定業務、固定局及び移動局の定義に関する検討(WRC決議957))

入力文書：1B/132(Annex 5), 135 (WP 4A), 139 (WP 4C), 144 (WMO), 152 (中国)

出力文書：1B/TEMP/74

(1) 主要結果

中国が議長を務める DG9.1.6 において CPM テキスト案が審議された。本会合に提出されたいずれの入力文書も前回会合で作成された CPM テキスト案で結論づけられている「定義変更は不要である」との見解を支持するものであったことから特段の議論はなかった。中国が CPM テキスト案のエグゼクティブ・サマリーに一部情報を追記するなどの微細な変更を経て CPM テキスト案が完成した。

2.3 議題 9.1.7(緊急事態及び自然災害軽減のための周波数管理ガイドラインに関する検討(WRC決議647))

入力文書：1B/132(Annex 6), 143 (WP 6A), 151 (中国), 165(カナダ), 176 (WP 5A)

出力文書：1B/TEMP/75

(1) 主要結果

前回会合でドイツ提案により決議 647 の削除及び決議 644 に若干の修正を加えることで合意され、TEMP 文書が作成されていたが、本会合において DG による審議が 2 回実施され（議長：米国）カナダ、中国からの入力文書を審議した結果、CPM テキスト案には以下の 3 つの案（Option）が記載されることで合意された。

Option A：決議 644 と 647 をマージして決議 644 を削除（カナダ提案）

Option B：決議 647 修正のみ（中国提案）

Option C：決議 647 削除、決議 644 若干修正（前回の議長報告 Annex（ドイツ提案））

(2) 審議概要

決議 647 では緊急事態・災害対応向けの周波数管理のガイドライン作成を求めているが、CEPT 諸国はこのような追加ガイドラインは不要であるとの見解で概ね合意していることから決議 647 の削除を主張した（Option C）。特に決議 644 は災害軽減及び救援活動への情報通信資源の供与に関するタンペレ条約（1998 年）² において直接的に言及されていることから、決議 644 を維持し、決議 647 にある内容を必要に応じて決議 644 に統合すべきであるとの見解であった。

これに対しカナダは決議 647 は国連の様々な組織で広く参照されているため安易に削除すべきでないとした上で、CEPT 提案とは逆の発想で決議 644 の内容を一部、決議 647 に統合することで決議 644 を削除する方が適切であるとした。

さらに、中国は決議 644 は多くの勧告や報告に参照されているためこれを削除すると混乱が起きるとしカナダ提案に反対した。具体的には決議 644 は NOC とした上で、決議 647 については内容を一部縮小し「緊急及び災害救援の際の最新の連絡先を BR に伝えるよう主管庁に奨励する」とする修正を提案した。

² ただし、多くの国が未批准であり我が国もその一例である

このように異なる Option が審議された結果、これらを集約・統合することはできなかったため、前回の議長報告 Annex にある Option (CEPT による提案) に加え、カナダ提案、中国提案の合計 3 件の Option が CPM テキスト案に記載されることで合意された。

3 Working Group 1B-3 その他の事項 (議長: Mr. R.Chang (CHN))

入力文書 : 1B/132 (Annexes 1,2,3,8,9,10), 134 Rev.1(CG 議長), 146 (イスラエル), 150(WP 7D), 154(ロシア), 157(中国), 158 (中国), 160(米国), 163 (フランス), 166 (RG 議長), 168(韓国), 169 (アルゼンチン), 172(コロンビア)
出力文書 : 1B/TEMP/76, 77, 78, 84, 85

【主要結果】

勧告 ITU-R SM.1603-1 (Spectrum redeployment as a method of national spectrum management)、報告 ITU-R SM.2012-3 (Economic aspects of spectrum management)、National Spectrum Management (NSM) ハンドブック、勧告 SM.1413-2 : Radio communication Data Dictionary (RDD)の改訂文書が完成した。これら 4 件の出力文書はすべて SG1 に上程され、後に開催された SG1 においても特段大きな修正なく承認された。なお、デジタルディビデントに関する報告は本会合において完成させることが目標とされていたが、DG (議長: オランダ) で数回審議するも審議未了の箇所が残されていたことなどから未完成のままとなった。完成箇所のみを SG1 に上程する案も検討されたが、時期尚早とされ、ロシアを議長とする RG を新たに設置し、次回以降も継続審議することで合意された。

3.1 勧告 ITU-R SM.1603-1 : Spectrum redeployment as a method of national spectrum management

入力文書 : 1B/132(Annex 1), 160 (米国), 168 (韓国)
出力文書 : 1B/TEMP/77

(1) 主要結果

勧告 ITU-R SM.1603-1 は国際的な周波数割当ての変更や各国の事例提供、周波数効率の向上、また市場の要求を満たすための周波数管理ツールとしての周波数再編等を主題とするものである。本会合において、米国、韓国の入力文書を審議した結果、米国における 800 MHz 以下の Private Land Mobile 帯域の周波数再編事例が新たな Annex として追加されたほか、韓国の提案により免許不要周波数帯の周波数再編およびこれに伴う免許不要周波数帯の既存利用者に対する補償等に言及する記載が追記され、本勧告改訂案は完成した。同文書は後に SG1 へ上程され、承認された。

3.2 報告 ITU-R SM.2012-3 : Economic aspects of spectrum management

入力文書 : 1B/132(Annex 3)

出力文書 : 1B/TEMP/76

(1) 主要結果

本会合における同報告改訂に関する入力文書はなく、前回会合の議長報告に添付されていた文書 (WP1B/132(Annex 3)) に一部微細な修正 (韓国の事例紹介に含まれていた表の削除) が加えられた上で承認された。本報告の改訂内容は、これまで 3 年間の審議を経て 5 章に米国、ロシア、韓国、中国における主管庁の経験を事例として追加するものとなっている。なお、同文書は後に SG1 へ上程され、承認された。

3.3 National Spectrum Management (NSM) ハンドブック

入力文書 : 1B/132(Annex 9, 10), 146 (イスラエル), 150 (WP 7D), 158 (中国), 163 (フランス), 166 (RG 議長), 169 (アルゼンチン), 172 (コロンビア)

出力文書 : 1B/TEMP/85

(1) 主要結果

RG における審議結果、および本会合における入力文書が審議され、NSM ハンドブックが完成し、TEMP 文書は SG1 に上程された。SG1 における審議においては、一部、情報を更新すべき点が確認されたことから、SG1 カウンセラがエディトリアルに対応することで合意され、特段大きな議論・修正等なく承認された。

(1) 審議概要

周波数管理に果たす電波監視の役割を踏まえ、電波監視に関するセクションを第 4 章として追加した。その際、WP1C で作成された「電波監視ハンドブック」が存在している点を踏まえ、周波数管理の観点から重要と思われる内容を完結に統合する方向で合意された。本方針に従い、元 WP1C 議長 (オランダ) が作成したテキスト案を現 WP1C

議長（ドイツ）やイスラエルが見直し、一部、追記・修正等をした上で完成した。第7章の周波数管理活動の自動化については、フランス提案により欧州における情報がAnnexに追加され、他のAnnexにおいても電波監視に関する記載は限定的にするなどの修正を経て完成した。

なお、コロンビアの入力文書に含まれていたモバイル通信技術規格の歴史的変遷をまとめた図において、iModeからW-CDMA FDDへの進化が示されていなかったことから日本から修正を求めたところ、提出元のコロンビアが不在であったためWP1Bで審議され、修正を加えることで合意された。

3.4 デジタルディビデントに関するPDNRep.

入力文書：1B/132(Annex 8), 154 (ロシア), 157 (中国)

出力文書：1B/TEMP/84

(1) 主要結果

本報告は本会合における完成を目指してCG（議長：オランダ）を設置した上で審議を継続してきたが、同文書で扱うスコープの策定等の本質的な側面も含めて、全体総意を形成することができなかったほか、入力文書の数も限定的であったことから未完成の箇所も残されていた。このような状況も含めてWP1B プレナリーで審議された結果、CGはToRにより本会合で作業を終了する予定となっていたこと、一方でデジタルディビデントに関する検討そのものは2015年まで継続できることといった点を鑑み、ロシアを議長として新たにラポータグループを設置し、次回会合（2015年6月）における完成を目指すことで合意された。

(2) 審議概要

ロシア、中国からの入力文書を受け、本会合においてもDGを設置して審議した。しかし、時間的制約や入力文書が限定的であったこともあり、途上国を含めデジタルディビデントを検討している主管庁にとって有益な情報も含まれてはいるものの、全体の構成としては審議未了、あるいは報告に含める記載として未完成の箇所が残されている文書しか完成させることができなかった。

このような状況を踏まえて、作業文書の中から完成した部分だけを抜粋し、SG1に上程し、承認を仰ぐ案と、当初、本会合で完成させることを目標としていたが上記の事情から現時点における作業文書を次回会合へ持ち越し、来年も継続審議する案とが検討された。これに対し、本報告の審議を主導してきたロシアが、入力文書の数が限定的で

あり時間を延長しても大きな進展がなさそうであることから SG1 への上程案を推奨し、WP1B 議長がこれを支持した。一方で、スウェーデンは、各国の事例に関する情報は有益ではあるものの、報告全体の骨子としてはデジタルディビデントに関するガイダンスを提供するという観点から完成度が低いため、WP1B において追加審議が必要であると主張、イスラエルがこれを支持した。

議論の結果、コレスポンデンスグループが ToR により本会合で作業を終了させる予定となっていたことも鑑み、ロシアを議長とする新たなラポータグループを設置し、次回会合（2015 年 6 月）における完成を目指すことで合意された。そのため、本報告作業文書は SG1 には上程されなかった。

3.5 勧告 SM.1413-2 : Radio communication Data Dictionary (RDD)

入力文書 : 1B/ 132(Annex 2), 134 (Rev.1) (CG 議長)

出力文書 : 1B/TEMP/78

(1) 主要結果

本勧告の改訂作業自体は 2014 年 1 月に開催された WP1B において既に終了しており、本会合においては、文書量が多いことも考慮の上、全体的な確認・見直しを行うと共に、DG 参加者から寄せられたエディトリアルなコメント等に対応する作業が進められた。これらの審議を経て、同勧告の改訂作業は終了し、TEMP 文書は SG1 に上程され、後に SG1 においても特段の議論・修正等なく承認された。

表-2 入力文書一覧

文書 番号	提出元	表題	
132	Chairman, WP 1B	Report on the meeting of Working Party 1B (Geneva, 20-28 January 2014)	WP 1B 会合報告
133	International Special Committee on Radio Interference	Liaison to ITU-R on the Database for the protection of radio services	無線サービス保護のためのデータベース に関する ITU-R へのリエゾン
134	Chairman, CG on rev. RDD	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	RDDに関する ITU-R 勧告 SM.1413-2 の暫 定修正案
135	WP 4A	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 4C for information) - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.6	WRC-15 議題 9.1.6 に関する WP 1B への リエゾン文書
136	WP 4A	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 4C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信シス テムによる周波数へのダイナミックアク セスのための周波数管理原理や周波数エ ンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定 新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向け た作業文書に関する WP 1B へのリエゾン 文書
137	WP 5D	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Parties 5A, 5B and 5C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信シス テムによる周波数へのダイナミックアク セスのための周波数管理原理や周波数エ ンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定 新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向け た作業文書に関する WP 1B へのリエゾン 文書
138	ITU-T LS 07R1	FG Bridging the Gap from Innovation to Standards (FG Innovation) - Liaison statement on New Standardization Activities for ITU-T Study Groups and ICT Innovation Panel [to all ITU-T Study Groups, ITU-D Study Groups and ITU-R Study Groups]	イノベーションと標準の間のギャップを 埋めることに関する FG (FG Innovation) ITU-T SG 及び ICT Innovation Panel に関 する新標準活動についてのリエゾン文書

文書 番号	提出元	表題	
139	WP 4C	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 4A for information) - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.6	WRC-15 議題 9.1.6 に関する WP 1B への リエゾン文書
140	WP 4C	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 4A for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
141	TU-T JCA-IoT	Liaison statement on IoT-Roadmap, IoT-work program, contacts and invitation to participate in IoT-GSI events	IoT-ロードマップ、IoT-作業プログラム、 コンタクト、IoT-GSI イベントへの招待に 関するリエゾン文書
142	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
143	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1B - Broadcasting for Public Warning, Disaster Mitigation and Relief	公衆警報及び災害救援のための放送に関する WP 1B へのリエゾン文書
144	World Meteorological Organization	Liaison statement to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 7B, 7C, Joint Task Group 4-5-6-7 and the Special Committee as responsible Groups for WRC-15 agenda items 1.1, 1.3, 1.5, 1.6, 1.9, 1.10, 1.11, 1.12, 1.17, 1.18, 7, 9.1.1, 9.1.2., 9.1.5, 9.1.6, 9.1.8, 10 (copy to Working Party 5D)	WRC-15 議題 1.1, 1.3, 1.5, 1.6, 1.9, 1.10, 1.11, 1.12, 1.17, 1.18, 7, 9.1.1, 9.1.2., 9.1.5, 9.1.6, 9.1.8, 10 に関して責任のあるグループとして、WP 1B、4A、4C、5A、5B、7B、7C、JTG 4-5-6-7 及び SC への リエゾン文書
145	International Civil Aviation Organization	Liaison statement to Working Party 1B (copied to Working Party 4A, 4C, 5B, IMO and WMO for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書

文書 番号	提出元	表題	
146	Israel	NSM-HB revision of Annex 1 - Spectrum management training	NSM-HB の Annex 1 周波数管理トレーニングの修正
147	WP 7B	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Parties 7C and 7D for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
148	WP 7C	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
149	WP 7D	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Parties 1A, 7B and 7C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
150	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B - Revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management"	ITU ハンドブック「国家周波数管理」に関する WP 1A 及び 1B へのリエゾン文書
151	China	Working document towards draft CPM text on WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.7	WRC-15 議題 9.1.7 に関する CPM テキスト案に向けた作業文書
152	China	Working document towards draft CPM text on WRC-15 agenda item 9.1 issue 9.1.6	WRC-15 議題 9.1.6 に関する CPM テキスト案に向けた作業文書

文書 番号	提出元	表題	
153	Russian Federation	Proposals for revision of working document towards a PDN Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio system employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書の修正案
154	Russian Federation	Working document towards a draft new Report ITU-R SM. [DIGITAL DIVEDEND ISSUES] - Proposals towards a draft new Report ITU-R SM.[DIGITAL DIVIDEND ISSUES]	ITU-R 新報告案 SM. [DIGITAL DIVEDEND ISSUES]に向けた作業文書
155	China	Proposal for management policy of wireless power transmission devices	無線電力伝送機器の管理政策への提案
156	China	Proposed contribution to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. [DYNAMIC ACCESS]	ITU-R 暫定新報告案 SM. [DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書への寄与案
157	China	Considerations about [DIGITAL DIVIDEND] issues and modification proposal on Annex 8 of Working Party 1B Chairman's Report	WP 1B 議長報告の Annex 8 に関する [DIGITAL DIVIDEND]問題と修正案に関する考察
158	China	Working document toward a preliminary draft revision of Chapter 8 - Measures of spectrum utilization and spectrum utilization efficiency	第 8 章周波数の利用状況測定及び周波数の有効利用の暫定修正案に向けた作業文書
159	Netherlands	Possible allocation for intra chip communication in the 200-600 GHz range	200-600GHz 帯のチップ間通信のための可能な割当
160	United States of America	Working document towards a revision of Recommendation ITU-R SM.1603-1 spectrum redeployment as a method of national spectrum management - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	国家周波数管理の方法としての周波数再分配に関する ITU-R 勧告 SM.1603-1 の修正に向けた作業文書
161	United States of America	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS] コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理
162	Germany	How measurement of spectrum occupancy can help spectrum management	周波数管理を支援する手段としての周波数占有率測定
163	France	Proposal regarding the update of ITU Handbook on "National Spectrum Management"	ITU ハンドブック「国家周波数管理」の更新に関する提案

文書 番号	提出元	表題	
164	Canada	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. [DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	ダイナミックアクセスに関する作業文書への修正案
165	Canada	Proposed modifications to working document towards draft CPM text - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.7	WRC-15 議題 9.1.7 に関する CPM テキスト案に向けた作業文書への修正案
166	Rapp. RG WP 1B rev. ITU H'book "N.S.M."	Report of the activities of the Rapporteur Group	ラポータグループの活動報告
167	Korea	This document has been withdrawn	本文書は撤回
168	Korea	Working document towards a preliminary draft modification towards Recommendation ITU-R SM.1603-1	ITU-R 勧告 SM.1603-1 に対する暫定修正案に向けた作業文書
169	Argentine	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National spectrum management " - Chapter 5 - Spectrum Engineering Practices	ITU ハンドブック「国家周波数管理」第5章周波数エンジニアリングプラクティスに関する暫定修正案に向けた作業文書
170	WP 5C	Liaison statement to Working Party 1B (copied for information to Working Parties 5A and 5B) - Development of a draft new Report ITU-R SM.[WHITE-SPACE] spectrum management principles and spectrum engineering techniques for the use of "White spaces" by radio systems employing cognitive capabilities	ITU-R 新報告案 SM.[WHITE-SPACE]に関する WP 1B へのリエゾン文書 (WP 5A 及び 5B へ情報提供として送付)
171	France	Proposal to develop a new ITU-R Report on innovative regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum	周波数の共同利用を促進するための革新的な規制事項に関する ITU-R 新報告提案
172	Colombia	Chapter 2 - Spectrum planning	第二章 周波数計画
173	WP 5B	Liaison statement to Working Party 1B (copied for information to ITU-R Working Parties 5A, 5C and 5D) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]	ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に関する WP 1B へのリエゾン文書
174	WP 5A	Liaison statement to Working Party 1B (copied to Working Parties 5B, 5C and 5D for information) - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する WP 1B へのリエゾン文書
175	ATDI	White space device management	ホワイトスペース機器管理

文書 番号	提出元	表題	
176	WP 5A	Reply liaison statement to Working Party 1B - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.7 - Resolution 647 (Rev. WRC-12)	WRC-15 議題 9.1.7 決議 647 (Rev. WRC-12) に関する WP 1B への返信リエゾン文書
177	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1B/132 - 1B/177)	発行文書リスト (文書 1B/132 - 1B/177)
178	WP 1C	Note from the Chairman of Working Party 1C to the Chairman of Working Party 1B - Assessment of Document 1C/107 (1B/162) by Working Party 1C - How measurement of spectrum occupancy can help spectrum management	周波数管理を支援する手段としての周波数占有率測定に関する文書 1C/107 (1B/162) の評価に関する WP 1C 議長からの連絡
179	Director, BR	Contribution from the Telecommunication Development Bureau on the ITU Handbook on National Spectrum Management	ITU ハンドブック「国家周波数管理」に関する電気通信開発局からの寄与
180	Director, BR	Final list of participants - Working Party 1B (Geneva, 3-11 June 2014)	WP 1B 最終参加者リスト

表-3 出力文書一覧

文書 番号	表題		備考 (提出元)
72 (Rev.1)	Draft liaison statement to CISPR (copy to ITU-R WP 6A) - A database for the protection of radio services	無線サービス保護に係るデータベースに関する CISPR へのリエゾン文書案 (ITU-R WP 6A へ情報提供として送付)	WP 1A, WP 1B
73	Draft CPM text on WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.4 - Resolution 67 (WRC-12) - Updating and rearrangement of the Radio Regulations	WRC-15 議題 9.1 (Issue 9.1.4) に関する CPM レポート案	WG 1B-2
74	Draft CPM text on WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.6 - Resolution 957 (WRC-12) - Studies towards review of the definitions of fixed service, fixed station and mobile station	WRC-15 議題 9.1 (Issue 9.1.6) に関する CPM レポート案	WG 1B-2
75	Draft CPM text - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.7 - Resolution 647 (Rev. WRC-12) - Spectrum management guidelines for emergency and disaster relief radiocommunication	WRC-15 議題 9.1 (Issue 9.1.7) に関する CPM レポート案	WG 1B-2
76 (Rev.1)	Draft modification of Report ITU-R SM.2012-3 - Economic aspects of spectrum management	周波数管理の経済的側面に関する ITU-R レポート SM.2012-3 の修正案	WG 1B-3
77	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.1603-1 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	国家周波数管理の手段としての周波数再分配に関する ITU-R 勧告 SM.1603-1 の修正案	WG 1B-3
78	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	無線データ辞書 (RDD) に関する ITU-R 勧告 SM.1413-2 の暫定修正案	WG 1B-3
79	Note from the Chairman of WP 1A to the Chairman of WP 1B on wireless power transmission	無線電力伝送に関する WP 1A 議長からの連絡	WP 1A
80	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS] - Innovative regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum	刷新的な規制ツールに関する PDNRep	WG 1B-1
81	Terms of Reference of the WP 1B Correspondence Group on SRD classification	SRD 分類に関する ToR	WG 1B-1
82	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	ダイナミックアクセスに関するリエゾン文書	WG 1B-1

文書 番号	表題		備考 (提出元)
83	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities	ダイナミックアクセスに関する PDNRep に向けた作業文書	WG 1B-1
84	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. on [DIGITAL DIVIDEND ISSUES] - The challenges and opportunities for spectrum management resulting from the transition to digital terrestrial television in the VHF and UHF bands	DDに関する PDNRepに向けた作業文 書	WP1B-3
85	Preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management"	国家周波数に関する ITU ハンドブッ ク 暫定修正案	WG 1B-3
86	Summary Report of the activities of Working Group 1-B1 - Short range devices (SRDs) related issues	SRD に関する活動報告サマリー	WG 1B-1

2014 年 6 月 ITU-R WP1C 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP1C 会合
 (電波監視に関する作業部会)
- 【会 期】 2014 年 6 月 3 日 (火) ~6 月 10 日 (火)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概 要】

本会合は、今研究期間における第 3 回会合である。31 ヶ国の主管庁より 103 名、13 の関係機関より 22 名及び ITU 事務局より 2 名が参加した。合計参加人数は、127 名であった。日本からの参加者は、白井氏 (総務省)、小野氏 (NEC)、荒田氏 (光電製作所)、大木氏 (東芝)、上田氏 (三菱電機)、服部氏、小林氏 (NTT-AT)、鞆田氏 (MRI) の 8 名である。

日本、アメリカ、ドイツ、ロシア、中国、韓国、ローデ・シュワルツ社 (独)、MEDAV 社 (独)、WP1C 議長、各種コレスポネンスグループ (以下 CG) 議長等からの寄与文書及び他グループからの連絡文書を含め合計 43 件 (1C/75~117) の文書が入力され、21 件の出力文書 (1C/TEMP/31~52、1C/TEMP/50 はキャンセル) が作成された。

会議では、2 つの Working Group (WG) 等が設置され、各議題について審議が行われた。会議の構成は表-1 のとおりである。

また、表-2 に入力文書一覧を、表-3 に出力文書一覧を示す。

表-1 WP1C の会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1C 議長 : Mr. Trautmann (ドイツ)
Working Group 1C-1 議長 : Mr. Higgins (米国) 担当 : 技術的な課題
Working Group 1C-2 議長 : Mr. Al-sawafi (オマーン) 担当 : 一般的な課題

その他、本会合における特記事項を以下に示す。

- ・ 次回の WP1C 会合は、2015 年 6 月 3 日~6 月 10 日にスイス ジュネーブで開催することとする。

4 Working Group 1C-1:技術的な課題（議長：Mr. Higgins（米国））

入力文書：1C/75, 1C/76, 1C/77, 1C/81, 1C/83, 1C/84, 1C/93, 1C/94, 1C/96, 1C/97, 1C/98, 1C/100, 1C/101, 1C/104, 1C/105, 1C/106, 1C/108, 1C/109, 1C/110, 1C/111, 1C/112, 1C/113, 1C/114, 1C/115

出力文書：1C/TEMP/31, 1C/TEMP/34, 1C/TEMP/35, 1C/TEMP/43, 1C/TEMP/44, 1C/TEMP/45, 1C/TEMP/46, 1C/TEMP/49, 1C/TEMP/51, 1C/TEMP/52

(1) 主要結果

- ・ 1C/TEMP/31：勧告文書 ITU-R SM.1875-1 「DVB-T カバレッジ測定と計画基準の検証」の改訂案を作成した。
- ・ 1C/TEMP/34：「有線電気通信システム（PLT を含む）と無線通信システムの共存」に係る WP1C のコンタクトポイントに関する WP1C 議長から WP1A 議長への覚書を作成した。
- ・ 1C/TEMP/35： WP3L への連絡文書「屋内の雑音測定に関する情報文書」を作成した。
- ・ 1C/TEMP/43：勧告文書 ITU-R SM.1880-X 「周波数占有状況の測定及び評価」の改訂事前案に向けた作業文書を作成した。
- ・ 1C/TEMP/44：新報告文書案「特定のデジタル信号の技術的識別及び解析の適用」を作成した。
- ・ 1C/TEMP/45：報告文書 ITU-R SM. 2211 「信号の位置特定における到来時間差（TDOA）手法と到来角（AOA）手法の比較」の改訂案を作成した。
- ・ 1C/TEMP/46：新報告文書「電波監視の発展」の事前案に向けた作業文書を作成した。
- ・ 1C/TEMP/49：新勧告文書「方向探知（DF）精度の測定のための試験手順」の事前案を作成した。
- ・ 1C/TEMP/51：新勧告文書「マルチパス伝搬に対する DF 電磁波耐性の測定のための試験手順」の事前案を作成した。
- ・ 1C/TEMP/52：新勧告文書「実地での DF 精度測定」の事前案に向けた作業文書を作成した。
- ・ 1C/97：新報告文書「DVB-T 局の固定受信のためのサービスエリアの定義」の事前案に向けた作業文書が議長報告の添付文書とされることとなった。

(2) 審議概要

1) 有線電気通信システム（PLT を含む）と無線通信システムの共存

入力文書：1C/75, 1C/76, 1C/77, 1C/81

出力文書：1C/TEMP/34

- ・ 1C/75 (WP1A) : 議長より、ITU-T SG9 への連絡文書であり、WP1C へは参考送付された旨が周知された。WP1C としては情報として了知することとなった。
- ・ 1C/76 (WP1A) : 議長より、WP1A からの連絡文書であり、WP 間の情報共有の効率化のためにコンタクトポイントを設置することを要求したものであると周知された。WP1C のコンタクトポイントは WP1C 議長が行うこととなった。WP1A に対する覚書として 1C/TEMP/34 を出力した。
- ・ 1C/77 (WP1A) : 議長より、ITU-T SG15 への連絡文書であり、WP1C へは参考送付された旨が周知された。WP1C としては情報として了知することとなった。
- ・ 1C/81 (WP1A) : 議長より、ITU-T SG5 への連絡文書であり、WP1C へは参考送付された旨が周知された。WP1C としては情報として了知することとなった。

2) 勧告文書 ITU-R SM.1875-1 「DVB-T カバレッジ測定と計画基準の検証」の改訂案

入力文書 : 1C/96

出力文書 : 1C/TEMP/31

- ・ 1C/96 (ロシア) : 1 点目の提案は、DVB-T 信号におけるスペクトル振幅の標準偏差 σ を 2.27 節に従って計算する際の定義に関連するものであり、2 点目の提案は 3.1.4.1 項にて対象地域の条件及びその根拠を明記するものである旨が周知された。データシートの入れ込み方について、説明文を入れることとなり、TEMP 文書を出力する際に提案の背景を説明することとなった。勧告文書の改訂案として 1C/TEMP/31 が出力された。

3) デジタル信号の技術的識別に関する新報告文書の事前案

入力文書 : 1C/98, 1C/101, 1C/110

出力文書 : 1C/TEMP/44

- ・ 1C/98 (CG 議長) : 昨年度は CG の活動が活発ではなく、1C/101 の内容以外の変更はわずかであることが周知された。1C/101 の内容は反映されており、1C/110 の内容は反映されていない旨が周知された。本会合中に DG を設置し、合意可能な箇所は合意し、残りは来年度に向けて CG にて作業することが提案された。米国が DG 議長を務めることを了承した旨が周知された。
- ・ 1C/101 (中国) : 6.1 節の修正を提案するものであり、まとめの項を追加した旨が周知された。
- ・ 1C/110 (RaiWay 社) : 8 章の利用事例に関して修正を提案するものである旨が周知された。

これらの寄書を報告文書案とするために、米国を議長としたドラフティンググループ (以下 DG) を設置することが決定し、具体的な文書構成について相談することとなった。

DG では、本報告文書には既存の勧告文書 SM.1600 を補完する情報のみを掲載し、新たな種類の信号が実用化された際に、その信号の情報を掲載する場所としての意味合いを持たせることが確認された。また、利用者が本報告文書を参考として施策を実施可能とするために、具体的なユースケースを入れこむこととし、一般化された数式や技術的な記述は削除して記載内容が理解しやすいものにする方針となった。

上記の方針に基づき、スコープを明確にするためにタイトルを「特定デジタル信号の技術的識別及び解析の適用」と変更し、冒頭に背景の説明と添付文書作成作業

のためのガイダンスが追加された。また、ITU-T/ITU-R/ISO/IEC 等の基準が SNR (Signal to Noise Ratio、SN 比) に適用され、これらのリンクが記載されることとなった。当初は来年度に持ち越す予定であったが、これらの変更を反映し、報告文書案として 1C/TEMP/44 が出力された。

4) 勧告文書 ITU-R SM.1880-X「周波数占有状況の測定及び評価」の改訂案

入力文書：1C/83

出力文書：1C/TEMP/43

- ・ 1C/83 (ロシア)：3.4 節が大幅に変更されたことが周知された。修正の後、議長報告に添付され、新たな寄書を求めることとなった。勧告文書の改訂事前案に向けた作業文書として 1C/TEMP/43 が出力された。

5) 新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案- DF 精度測定のための試験手順

入力文書：1C/93, 1C/100, 1C/104, 1C/109, 1C/114, 1C/106

出力文書：1C/TEMP/49, 1C/TEMP/51, 1C/TEMP/52

- ・ 1C/93 (MEDAV 社)：議長より、1C/104 と概ね同様の内容であることが周知された。ローデ・シュワルツ社より、本文書で削除されたマルチパス環境の試験部分を 1C/106 にて DF の電磁波耐性 (DF Immunity) として取り出したとのコメントがなされた。
- ・ 1C/100 (中国)：OATS (Open Air Test Site、オープン・サイト) 試験条件や到来角度の設定、データ収集の方法に関して修正を加えた旨が周知された。
- ・ 1C/104 (CG 議長)：1C/93 をベースとして、CG に対する各国からの寄与を反映した旨が周知された。日本の寄与文書に関しては若干性質が異なるために添付文書とされた旨が周知された。
- ・ 1C/106 (ローデ・シュワルツ社)：議論を単純化するためにマルチパス環境の試験を切り離れた旨が周知された。
- ・ 1C/109 (韓国)：OATS の試験条件に部分的な修正が加えられた旨が周知された。CISPR の一般的なアンテナ試験場の条件を元に、理論的な試験条件を設定した旨が周知された。1C/104 には反映されていないことが周知された。
- ・ 1C/114 (日本)：試験の再現性を担保することが重要であり、理想的な OATS を確保することが困難な場合があるため、伝搬シミュレータの利用は有効であることが示され、シミュレータを使用した測定手法の追加を提案する旨が周知された。

DG では勧告文書の単純化のために、試験条件に応じて DF Immunity、DF Accuracy、実地での DF 精度 (On-site DF Accuracy) の 3 勧告文書に分割することとなった。DG は計 10 回開催され、各 DG 間に一部の参加者が文書案作成作業を行った。日本は各 DG 間で個別の質問、説明を積極的に実施し、各勧告文書案のスコープの明確化とシミュレータを使用した試験方法への理解を求めた。DG 議長からは来年度まで議論を持ち越すことも提案されたが、主にドイツ代表により、これまでの議論を踏まえ、本年度中に DF Immunity、DF Accuracy、On-site DF Accuracy を一挙に勧告文書化すべきとの主張がなされ、本会合中に勧告文書化を図る方向で議論が進行した。以下に DG での議論の概要を示す。

日本より DF Immunity、DF Accuracy の定義に関する確認が行われ、DF Immunity はマルチパス環境 (単一発射源/マルチパス伝搬) での測定、DF Accuracy は反射のない環境 (単一発射源/単一パス伝搬) での測定である旨が確認された。なお、複数発射源/マルチパス伝搬条件での試験は複雑さが増すため、今回の一連の勧告文書で

は対象としないことも確認された。

日本から提案されたシミュレータによる測定手法に関しては、シミュレータでは OATS と比較して性能が高く見積もられる点、アンテナを精度よく再現する方法が不明である点、購入側としてはシステム全体が評価された情報を参照したい点、シミュレータは高価であり一般に流通していない点等が指摘された。

勧告文書案にシミュレータに関する報告文書等を参照する記述を加えることも提案されたが、現時点で内容が明確ではない手法を参照することは合理的ではないとの指摘がなされ、参照記述は削除することとなった。しかしながら、OATS 確保の困難さや周波数利用の過密化といった状況に関して説明を重ねた結果、OATS や電波暗室が入手できない状況ではシミュレータは有効である旨の記述は残すこととなった。シミュレータによる測定手法に関しては、次回会合以降に別の文書として日本より提案を行うこととなった。提案内容としては、OATS や電波暗室における試験が抱える課題の抽出、シミュレータ使用によりそれらの課題をどのように解決が可能か、アンテナの効果がどのようにモデル化できるか等の観点を含めることが求められた。

DF Immunity、DF Accuracy、On-site DF Accuracy の各試験条件の記述に関しては、必要な精度での測定結果が得られることに留意しつつ可能な限り簡略化する方向で、会合出席者の中でも主に製造者（電波監視機器メーカー等）と利用者（主管庁等）の間での調整が行われた。特に、DF Immunity と DF Accuracy に関しては現実的な環境を再現することが目的ではなく、高い再現性を持ち、他社製品間での比較が可能な試験を目指すことが確認された。勧告文書には最低限必要となる条件のみを記載することとなり、試験を実施する周波数（測定周波数）の数に関しては最少の条件に加え、利用者より要請があれば試験点を増やすことが可能である旨が記載された。

DF Immunity に関する勧告文書案として 1C/TEMP/51 が、DF Accuracy に関する勧告文書案として 1C/TEMP/49 がそれぞれ出力された。

On-site DF Accuracy に関しては、MEDAV 社より十分な検討と議論ができていないとして、来年に議論が持ち越されることが提案された。この結果、DF Accuracy における相互参照では、既存の報告文書 SM.2125 が記載され、将来的に On-site DF Accuracy へ変更されることとなった。また、On-site DF Accuracy の検討は、DF Accuracy に関する既存の CG のメーリングリストを継続して使用することとなり、来年度に向けた主な検討事項が注記として加えられ、勧告文書の事前案に向けた作業文書として 1C/TEMP/52 が出力された。

6) 新勧告文書 ITU-R SM.[DOC. ----]の事前案 - 波面の歪みに対する DF の電磁波耐性測定のための試験手順

入力文書：1C/106

出力文書：-

- ・ 1C/106（ローデ・シュワルツ社）：新勧告文書 ITU-R SM.[DF Accuracy]の事前案の議論に組み込まれた。（詳細は 5)項に記載）

7) 新報告文書 ITU-R SM.[SPEC MON EVOLUTION]の事前案に向けた作業文書-電波監視の発展

入力文書：1C/94, 1C/115 rev1

出力文書：1C/TEMP/46

- ・ 1C/94（中国）：4 章にマルチモード位置特定技術に用いられる技術として 5 種類の DF 方式を追加した旨と、5.6 節に複数の DF 方式を複合させることのもの

効性、5.7 節に異なるオペレータが運用する GSM 基地局の位置特定手法を追加した旨が周知された。CG を継続し、来年度までに取りまとめることとなった。

- ・ 1C/115 rev1 (コロンビア) : 添付文書 3 として電波監視設備を 3 層に階層化する案が周知された。これに対してドイツから、既存の電波監視設備の階層に加えるものか、入れ替えるものかという質問がなされ、追加的なものであるとの回答がなされた。1C/94 と同じ CG に入力され、追加案を統合することとなった。

1C/115 rev1 が 1C/94 に加えられる形で議長報告に作業文書として添付されることとなり、1C/TEMP/46 が出力された。

8) 報告文書 ITU-R SM.2211 「信号の位置特定における到来時間差 (TDOA) 手法と到来角 (AOA) 手法の比較」の改訂案

入力文書 : 1C/84, 1C/105

出力文書 : 1C/TEMP/45

- ・ 1C/84 (ロシア) : 位置特定可能エリア (当初は geolocation coverage と表現) に関する添付文書を追加し、これに基づき表 3.2 に修正を加えた旨が周知された。TDOA ではセンサ局を多数配置した場合は精度が高いが、センサ局網外部の場合は位置特定精度が急激に低下する特徴を持ち、AOA は TDOA と比較してセンサ局の設置数が少なくても済むとの結論が周知された。
- ・ 1C/105 (米国) : 利用者が監視施設の設置・運用に関して考慮する際に役立つ、無線検知範囲 (RF detection range) と位置特定可能エリア (geolocation coverage area) といった用語の定義を行ない、これらの範囲に影響を与える要因に関して説明を追加したことが周知された。また、モデルを用いてシミュレーションを行なった結果も追加したことが周知された。これに対し、ハイブリッド AOA/TDOA は、TDOA のみの場合に比べて必要なセンサが 1 つ少なくて済むことを明記すべきである、とのコメントがなされた。

DG で上記 2 つの文書を統合することとなり、DG 議長には米国から選出されることとなった。DG ではセンサ局網から外れた発信源の方探精度が著しく低下する等の TDOA の弱点を強調する記述を修正すること、無線検知範囲と位置特定可能エリアの違いを明確に示すこと、TDOA では信号強度がノイズフロアより低い場合でも位置を特定可能であるという事実について説明を行うこと、次年度に新たな添付文書を加えるために移動監視局の信号ホーミングに関する記述を一部削除すること等が提案された。DG での議論を反映した後、勧告文書の改訂案として 1C/TEMP/45 が出力された。

9) 新報告文書 ITU-R SM.[DVB-T SERVICE AREA]の事前案に向けた作業文書 - DVB-T 局の固定受信のためのサービスエリアの定義

入力文書 : 1C/97

出力文書 : -

- ・ 1C/97 (ロシア) : 勧告文書 ITU-R SM.1875 を補足・代替する実用的な手法を提案している旨が周知された。エディトリアルな修正のため、少人数の DG が構成された。議長報告に作業文書として添付され、更なる作業が行われることとなった。

10) デジタル・システムに起因する不要輻射の特性の決定

入力文書：1C/108

出力文書：-

- ・ 1C/108（ドイツ）：不要輻射の測定原理の確立を提案したことが周知され、ドイツからも来年度会合までに試験手順を提示するとした。本会合中では特にグループは設置せず、情報として議長報告に添付し、来年度会合の寄与文書を持つこととなった。

11) 勧告文書 ITU-R SM.1753-2「電波雑音の測定手法」に関する連絡文書

入力文書：1C/111, 1C/112, 1C/113

出力文書：1C/TEMP/35

- ・ 1C/111（日本）：ドイツより、これまで屋内の1点で測定を行い、100近いオフィスで測定を行ったが、日本が提案した方法は1か所で電波雑音の発生源との距離が異なる状況でのデータが得られ、非常に効率的で優秀な方法であるとのコメントがなされ、将来的に勧告文書 ITU-R SM.1753-2 に追加することが適当との支持があった。
- ・ 1C/112（日本）：ドイツより、屋内ではSCN（Single Carrier Noise、単一搬送波雑音）に相当するノイズが非常に多く、その中から3種類のノイズを分離して測定するために、日本が提案した方法は非常に優れているとの支持コメントがなされた。勧告文書 ITU-R SM.1753-2 に屋内用測定方法として追加することを推奨するコメントがなされた。
- ・ 1C/113（日本）：これまで電気製品の数を基にカテゴリ分けを行ったわけではない点が指摘された。電気製品の使われ方は国によって異なるため、他国のデータを寄書として募集することが周知された。

日本より寄与された3文書に対し、ドイツよりこの内容ですぐに勧告文書 ITU-R SM.1753-2 を改訂するわけではないものの、同勧告文には実際の測定事例が少ないために屋内雑音測定についての記述が不足しており、本情報をもとに記述を追加する検討が有効である旨のコメントがなされた。これらの寄書について WP3L での検討を要請する連絡文書を作成し、1C/TEMP/35 が出力された。WP1C のコンタクトポイントは、NTT アドバンステクノロジーの服部氏となった。

12) 勧告文書 ITU-R SM.2039「電波監視の発展」への追加提案

入力文書：1C/115 rev.1

出力文書：-

- ・ 1C/115 rev1（コロンビア）：新報告文書 ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION] の事前案に向けた作業文書に関する議論に組み込まれた。（詳細は7)項に記載）

5 Working Group 1C-2: 一般的な課題（議長: Mr. Al-sawafi（オマーン））

入力文書：1C/78, 1C/79, 1C/80, 1C/82, 1C/85, 1C/86, 1C/87, 1C/88, 1C/89, 1C/90, 1C/91, 1C/92, 1C/95, 1C/99, 1C/102, 1C/103, 1C/107, 1C/116

出力文書：1C/TEMP/32, 1C/TEMP/33, 1C/TEMP/36, 1C/TEMP/37, 1C/TEMP/38,
1C/TEMP/39, 1C/TEMP/40, 1C/TEMP/41, 1C/TEMP/42, 1C/TEMP/47,
1C/TEMP/48

(1) 主要結果

- ・ 1C/TEMP/32: WP1C 議長から WP1B 議長への覚書「WP1C による文書 1C/107 及び 1B/162 の評価 - 周波数占有状況の測定は周波数管理にどう役立つのか」を作成した。
- ・ 1C/TEMP/33：新勧告文書「I/Q データの保存のための統一的なデータ・フォーマット」の事前案の作成に係る CG の取り決め事項 (TOR) を作成した。
- ・ 1C/TEMP/36：WP5B への連絡文書 (WP5A 及び WP5C へも参考送付)「3-50 MHz 帯の海洋レーダーによって使用される無線局識別信号 (コールサイン)」を作成した。
- ・ 1C/TEMP/37：勧告文書 ITU-R SM.1051-2 の改訂案「406-406.1 MHz 帯における有害な干渉の特定・除去の優先度」を作成した。
- ・ 1C/TEMP/38：勧告文書 ITU-R SM.1051-2 の改訂案「406-406.1 MHz 帯における有害な干渉の特定・除去への優先度」(改訂部分が黄色のハイライト表示となったもの)を作成した。
- ・ 1C/TEMP/39：勧告文書 ITU-R SM.1268-2 の事前改訂案「電波監視局における FM 放送波の最大周波数偏差の測定方法」を作成した。
- ・ 1C/TEMP/40：報告文書 ITU-R SM.2056-1 の改訂案「航空機による放送局のアンテナパターンの検証」を作成した。
- ・ 1C/TEMP/41：新勧告文書「電波監視用受信機の実出力データにおける時間情報の精度」の事前案の作成に係る CG の TOR を作成した。
- ・ 1C/TEMP/42：新報告文書「衛星監視のための測定手法及び新技術」の事前案の作成に係る CG の TOR を作成した。
- ・ 1C/TEMP/47：報告文書 ITU-R SM.2057-1 の改訂案「主要イベントにおける周波数管理と監視」を作成した。
- ・ 1C/TEMP/48：勧告文書 ITU-R SM.1052-2 の改訂案「406-406.1 MHz 帯における有害な干渉の特定・除去の優先度」の改訂案に関する WP4C の連絡文書に対する回答を作成した。

(2) 審議概要

1) 勧告文書 ITU-R SM.1051-2 「406-406.1 MHz 帯における有害な干渉の特定・除去の優先度」の改訂案

入力文書：1C/79, 1C/80, 1C/91

出力文書：1C/TEMP/37, 1C/TEMP/38, 1C/TEMP/48

- ・ 1C/79 (SG1 議長)：米国より、SG1 における勧告文書 ITU-R SM.1051-2 の検討状況が周知された。特に議論はなかった。
- ・ 1C/80 (WP4C)：米国より、勧告文書 ITU-R SM.1051-2 にエディトリアルな変更がなされたことが周知された。特に議論はなく、WP4C の連絡文書に対する回答として 1C/TEMP/48 が作成された。本回答文書は SG1 にて承認がなされた後に WP4C に送致されることとなった。
- ・ 1C/91 (米国)：内容に関してページ毎の確認を行った。スコープに関してエディトリアルな修正を加えることが要求された。エディトリアルな修正後、

1C/TEMP/37、1C/TEMP/38 を出力した。

2) 電磁界 (EMF) への人体の曝露に関する連絡文書

入力文書：1C/85

出力文書：-

- ・ 1C/85 (ITU-T SG5)：議長より説明がなされ、情報文書として了知することとなった。

3) 新報告文書 ITU-R SM.[PLANNING SMN]案の作成に関する活動報告 - VHF/UHF 周波数帯を対象とした電波監視ネットワークの計画及び最適化のための手順

入力文書：1C/102

出力文書：-

- ・ 1C/102 (ロシア、CG 議長)：電波監視ネットワークの計画及び最適化のための手順を詳述する報告文書について提案された。この報告文書は『ITU 電波監視ハンドブック 2011 年版』のセクション 6.8 を補足する内容となっている旨が周知された。ロシアから DG は設置しないことが提案されたが、WP1C 議長より物理的に集まることが有意義であるため、DG を設置すべきとの意見が出され、DG が設置されることとなった。DG 議長にはロシア代表が就任することとなった。

DG では各国からの提案に重複するものがあり、重複している部分を明らかにして、簡明にまとめる必要がある等の指摘がなされ、各国に対し更なる寄書の提出が要請された。本議題に関しては今回の会合でのコメントとその後に出される寄書を考慮して CG で更なる検討を行い、次回会合までに新報告文書案を提出することとなった。また、CG は予定通りもう 1 年継続することとなった。

4) 報告文書 ITU-R SM.2257-1 の改訂案 - 主要イベントにおける周波数管理と監視

入力文書：1C/95

出力文書：1C/TEMP/47

- ・ 1C/95 (ロシア)：2013 年 7 月にカザン市で開催された第 27 回ユニバーシアード競技大会の際の活動事例が盛り込まれていることが周知された。これに対し、議長からは添付文書の構造は既存の報告文書の構造に従うべき旨と、省略語を削減すべき旨が指摘された。また、ローデ・シュワルツ社やドイツから、技術的な記述や適切なパラメータが提示されることは有意義であるが、特定の企業名を記載することは避けるべきとの指摘がなされた。

上記の指摘を受けてロシアが修正を加えた文書に対し、更にエディトリアルな修正を行い、報告文書の改訂案として 1C/TEMP/47 が出力された。

5) 研究課題 ITU-R 255/7- 地球探査衛星業務 (受動) のセンサに対する電波干渉の検知及び解決

入力文書：1C/86

出力文書：-

- ・ 1C/86 (SG7)：議長より、新たに承認された研究課題に関する SG7 から SG1 に対する連絡文書であることが周知された。WP1C としては、特に新たな文書の作成は行わないこととなった。

6) 報告文書 ITU-R SM.2056 「航空機による放送局のアンテナパターンの検証」の修

正案

入力文書：1C/87

出力文書：1C/TEMP/40

- ・ 1C/87 (オランダ)：現行の報告文書には混乱を招く原因となる箇所がいくつか存在したため、修正を加えた旨が周知された。報告文書の改訂案として1C/TEMP/40が出力された。

7) ITU-R WP 1A への連絡文書 (WP 1C、5A、5B、5C 及び ITU-T SG5 にも参考送付) - 勧告文書 ITU-T K.60 及び K.mhn 「有線及び無線通信システムの共存」

入力文書：1C/78, 1C/88

出力文書：-

- ・ 1C/78 (WP1A)：議長より、WP1A からの連絡文書である旨が周知された。情報として了知することとなった。
- ・ 1C/88 (WP6A)：議長より、WP6A からの連絡文書であり、本文書の取り扱いは WP1A が担当するため、本会合では取り扱わない旨が周知された。WP1C としては情報として了知することとなった。

8) 勧告文書 ITU-R SM.1268 「電波監視局における FM 放送波の最大周波数偏差の測定方法」の事前改訂案

入力文書：1C/89

出力文書：1C/TEMP/39

- ・ 1C/89 (ドイツ)：CEPT で主に議論された内容であることが説明され、ドイツ単独の主張ではないことが強調された。5.2 の図 6 に関しては×印が記載された図が削除され、よりわかりやすい図に変更された旨が説明された。「analyser」の英文表記に関してもエディトリアルな修正として取り扱われた。ハンガリーより「multiplex power」と「modulation power」という表現が混在している旨が指摘され、「modulation power」に統一することとなった。勧告文書の事前改訂案として1C/TEMP/39が出力された。

9) 新勧告文書「I/Q データの保存のための統一的なデータ・フォーマット」に関する CG 設置

入力文書：1C/90

出力文書：1C/TEMP/33

- ・ 1C/90 (ドイツ)：I/Q データの保存に関する ITU-R 勧告文書 SM.[STORAGE_OF_I/Q_DATA]の策定に関して議論を始めるべきとの提案がなされた。これに対し、米国からは既存受信機への適用に関する懸念が表明され、さらに I/Q データの保存に関しては既に vita49³という基準が存在する旨が指摘された。また、ローデ・シュワルツ社からはデータの変換は難しいものではなく、この提案には既存の基準をダウングレードする意味合いもあるとの指摘がなされた。本議題に関しては CG を設置することが決定し、ドイツから議長を選出することとなった。CG の TOR として1C/TEMP/33が出力された。

10) 新勧告文書「電波監視用受信機の出力データにおける時間情報の精度」に関する

³ vita49 は、VMEbus International Trade Association により制定された。RF フロントエンドのパラメータ等のメタデータ及びデジタル信号データを搬送するためのパケット通信のプロトコルである。

CG 設置

入力文書：1C/92

出力文書：1C/TEMP/41

- ・ 1C/92 (ローデ・シュワルツ社)：電波監視用受信機のタイムスタンプ精度の測定方法に関して周知された。これに対し米国からは、タイムスタンプ精度を設定することは賛成であるが、より柔軟な勧告とするために、添付文書 1 の試験手順は一つの選択肢とするべき旨が指摘された。この議題に関しては CG を設置することが決定され、ローデ・シュワルツ社から議長を選出することとなった。WP1C 議長からは、議論の時間をとるために早い時期に検討を開始すべきであり、米国からの寄与を求める旨が指摘された。また、勧告の内容をより明確にするために、勧告文書タイトルを「電波監視用受信機出力データにおける時間情報の精度」とすることとなった。CG の TOR として 1C/TEMP/41 が出力された。

11) 新報告文書「衛星監視のための測定手法及び新技術」に関する CG 設置

入力文書：1C/99

出力文書：1C/TEMP/42

- ・ 1C/99 (中国)：衛星ネットワーク監視に関する報告文書または勧告文書を策定することを目的としている旨が周知された。これに対しドイツからは、勧告文書とすることは難しく、報告文書にすべきであるとの意見がなされた。加えて、今後より詳細な内容が追加されることが確認され、次のハンドブックに入れることを想定するのもよいとの提案がなされた。本議題に関しては CG を設置することが決定され、中国から議長を選出することとなった。CG の TOR として 1C/TEMP/42 が出力された。

12) ITU-R WP 1C、WP 5A、WP 5C への連絡文書 - 3-50 MHz 帯の海洋レーダーによって使用される無線局識別信号 (コールサイン)

入力文書：1C/82, 1C/103

出力文書：1C/TEMP/36

- ・ 1C/82 (WP5B)、1C/103 (WP5A 及び WP5C)：議長より、WP5B からの連絡文書であり、WP5B に連絡を行い、WP5A や WP5C にも参考送付することとなった。連絡文書の内容はさらなる情報の要求と、WP1C が支援を行えるかどうかを尋ねるものであり、日本が連絡文書案を作成した。エディトリアルな修正後、1C/TEMP/36 として出力された。

13) 周波数占有状況の測定は周波数管理にどう役立つのか

入力文書：1C/107

出力文書：1C/TEMP/32

- ・ 1C/107 (ドイツ)：2014 年 1 月に開催された ECC ワークショップの結果に関して周知された。WP1C としては、特に新たな文書の作成は行わないこととなった。WP1B 議長に対する覚書として 1C/TEMP/32 が出力された。

14) ITU-R 勧告データベース収録に向けた ITU-R 勧告文書 SM シリーズの精査に関する SG 1 共同ラポータ作業に関する WP 1A 及び WP 1C への中間報告

入力文書：1C/116

出力文書：-

- ・ 1C/116 (SG1 共同レポート) : 議長より、ITU-R 勧告文書が対象とするシステム／アプリケーションまたは概略テーマを示したデータベースを作成するために、WP1C が関係する勧告文書を精査することが提案されていることが周知された。ブラジルの Fabio 氏が中心となり、次回 WP1C 会合までに中間報告をもとに入力文書を作成することとなった。その文書をもとに WP1C にて議論した後、SG1 共同レポートに送致することが確認された。

表-2 入力文書一覧

文書 番号	提出元	表題	
74	Chairman, WP 1C	Report of the meeting of Working Party 1C (Geneva, 4 - 11 June 2013) WP1C 会合報告	
75	WP 1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 9 (Copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D and ITU-T Study Group 5) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - considerations with respect to work on Recommendation ITU-T J.195 (J.HiNoC-req)	ITU-T SG9 への連絡文書 (ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D, ITU-T SG 5 にも参考送付) 有線電気通信システム (PLT を含む) と無線通信システムの共存 - 勧告文書 ITU-T J.195 (J.HINOC-REQ)に関する作業についての検討
76	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Streamlining future cooperation within ITU-R and liaison with ITU-T	WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D への連絡文書 有線電気通信システム (PLT を含む) と無線通信システムの共存 - 今後の ITU-R 内での連携及び ITU-T との連絡の合理化
77	WP 1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 for information and action (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendation ITU-T G.fast	ITU-T SG15 への情報提供・実施要請のための連絡文書 (ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D にも参考送付) 有線電気通信システム (PLT を含む) と無線通信システムの共存 - 勧告文書 ITU-T G.fast に関する作業についての検討
78	WP 1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 5 (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) - Activities of ITU-T Study Group 5 related to interference between radio signal and device or cable connected to wired broadband networks and cable television networks	ITU-T SG5 への連絡文書 (ITU-R WP 1C, 3L, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D にも参考送付) 無線信号と有線ブロードバンドネットワーク及びケーブルテレビネットワークに接続された機器・ケーブルとの間の干渉に関する ITU-T SG5 の活動

文書 番号	提出元	表題	
79	Chairman, SG 1	Further consideration of the draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051-2 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	勧告文書 ITU-R SM.1051-2 の改訂案に対する追加検討 406-406.1 MHz 帯における有害な干渉の特定・除去の優先度
80	WP 4C	Liaison statement to Working Party 1C - Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	WP 1C への連絡文書 勧告文書 ITU-R SM.1051 の改訂案 406-406.1 MHz 帯における有害な干渉の特定・除去の優先度
81	WP 5B	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A and ITU-T Study Groups 5, 9 & 15 for action (copy to ITU-R Working Parties 1C, 3L, 4C, 5A, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D por information) - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Considerations with respect to work on Recommendations ITU-T G.fast and ITU-T J.195 (J.HINOC-REQ)	ITU-R WP 1A 及び ITU-T SG 5、SG 9、SG 15 への対処を求める連絡文書 (WP 1C、WP 3L、WP 4C、WP 5A、WP 5C、WP 5D、WP 6A、WP 7B、WP 7C、WP 7D にも参考送付) 有線通信システム (PLT を含む) と無線通信システムの共存 - 勧告文書 ITU-T G.FAST 及び勧告文書 ITU-T J.195 (J.HINOC-REQ)に関する作業についての検討
82	WP 5B	Liaison statement to Working Parties 1C, 5A and 5C - Station call-sign identification to be used by oceanographic radar in frequency band 3 to 50 MHz	ITU-R WP 1C、WP 5A、WP 5C への連絡文書 3-50 MHz 帯の海洋レーダーによって使用される無線局識別信号 (コールサイン)
83	Russian Federation	[Proposal for revision of Recommendation ITU-R SM.1880 - Spectrum occupancy measurement]	勧告文書 ITU-R SM.1880 の改訂案 周波数占有状況の測定
84	Russian Federation	[Proposal for revision of Report ITU-R SM.2211 - Comparison of time-difference-of-arrival and angle-of-arrival methods of signal geolocation]	報告文書 ITU-R SM.2211 の改訂案 信号の位置特定における到来時間差 (TDOA) 手法と到来角 (AOA) 手法の比較
85	ITU-T SG 5	Liaison statement on human exposure to EMF	電磁界 (EMF) への人体の曝露に関する連絡文書
86	SG 7	Question ITU-R 255/7	研究課題 ITU-R 255/7 地球探査衛星業務 (受動) のセンサに対する電波干渉の検知及び解決策

文書 番号	提出元	表題	
87	Netherlands (Kingdom of the)	Editorial modification of Report ITU-R SM.2056 - Airborne verification of antenna patterns of broadcasting stations (Question ITU-R 225/1)	報告文書 ITU-R SM.2056 のエディトリアル修正 航空機による放送局のアンテナパターンの検証
88	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1A - Copy to Working Parties 1C, 5A, 5B, 5C and ITU-T Study Group 5 - Recommendations ITU-T K.60 and K.mhn - Coexistence of wired and wireless communication systems	WP 1A への連絡文書 (WP 1C、WP 5A、WP 5B、WP 5C、ITU-T SG 5 にも参考送付) 勧告文書 ITU-T K.60 及び K.mhn 有線及び無線通信システムの共存
89	Germany (Federal Republic of)	Proposed draft revision of Recommendation ITU-R SM.1268	勧告文書 ITU-R SM.1268 の改訂案 電波監視局における FM 放送波の最大周波数偏差の測定方法
90	Germany (Federal Republic of)	Proposal for a new Recommendation on storage of I/Q data	I/Q データの保存に関する新勧告文書の提案
91	United States of America	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051-2 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	勧告文書 ITU-R SM.1051-2 の改訂案 406-406.1 MHz 帯における有害な干渉の特定・除去の優先度
92	Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DOC.____] - Inserting highly precise time information in I/Q data of monitoring receivers	新勧告文書 ITU-R SM.[DOC.____] の事前案 電波監視用受信機の I/Q データへの高精度時間情報の挿入
93	MEDAV GmbH	Review of preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY] - Test procedure for measuring DF accuracy	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY] の事前案の見直し DF 精度測定のための試験手順
94	Chairman, CG on Spectrum Monitoring Evolution	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION] - Spectrum monitoring evolution	新報告文書 ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION] の事前案に向けた作業文書 電波監視の発展
95	Russian Federation	Proposal for the revision of Report ITU-R SM.2257-1 - Spectrum management and monitoring during major events	報告文書 ITU-R SM.2257-1 の改訂案 主要イベントにおける周波数管理と監視

文書 番号	提出元	表題	
96	Russian Federation	Proposals for revision of Recommendation ITU-R SM.1875-1 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	勧告文書 ITU-R SM.1875-1 の改訂案 DVB-T カバレッジ測定と計画基準の検証
97	Russian Federation	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DVB-T_SERVICE_AREA] - Defining the service area of the DVB-T station for fixed reception	新報告文書 ITU-R SM.[DVB-T_SERVICE_AREA]の事前案に向けた作業文書 DVB-T 局の固定受信のためのサービスエリアの定義
98	Chairman, CG Tech. Id. Digital Signals	Report of the Correspondence Group on Technical Identification of Digital Signals	デジタル信号の技術的識別に関する CG 報告
99	China (People's Republic of)	Working document towards a preliminary draft new Report - Capability evaluation on satellite network monitoring	新報告文書の事前案に向けた作業文書 衛星ネットワーク監視の能力評価
100	China (People's Republic of)	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY] - Test procedure for measuring DF accuracy	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案 DF 精度測定のための試験手順
101	China (People's Republic of)	Proposals for working document toward preliminary draft new Report on technical identification of digital signals	デジタル信号の技術的識別に関する新報告文書の事前案に向けた作業文書への提案
102	Chairman CG on Planning SMN	Report on activities concerning development of the draft new Report ITU-R SM.[PLANNING_SMN] - Procedures for planning and optimization of spectrum-monitoring networks in the VHF/UHF frequency range	新報告文書 ITU-R SM.[PLANNING_SMN]案の作成に関する活動報告 VHF/UHF 周波数帯を対象とした電波監視ネットワークの計画及び最適化のための手順
103	WPs 5A and 5C	Joint liaison statement to Working Party 5B (copy for information to Working Party 1C) - Station call-sign identification to be used by oceanographic radar in frequency band 3 to 50 MHz	WP 5B への共同連絡文書 (WP 1C にも参考送付) 3-50 MHz 帯の海洋レーダーによって使用される無線局識別信号 (コールサイン)

文書 番号	提出元	表題	
104	CG on DF Accuracy	Report of Correspondence Group Activity on preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY]	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案に関するCGの活動報告 DF精度測定のための試験手順
105	United States of America	Proposal for the revision of ITU-R Report SM.2211 - Proposed update to ITU-R Report SM.2211 on comparison of time-difference-of-arrival and angle-of-arrival methods of signal geolocation	報告文書 ITU-R SM.2211 の改訂案 信号の位置特定における到来時間差 (TDOA) 手法と到来角 (AOA) 手法の 比較
106	Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DOC.----] - Test procedure for measuring DF immunity against distorted wave fronts	新勧告文書 ITU-R SM.[DOC.----]の 事前案 波面の歪みに対するDF電磁波耐性の測 定のための試験手順
107	Germany (Federal Republic of)	How measurement of spectrum occupancy can help spectrum management	周波数占有状況の測定は周波数管理に どう役立つのか
108	Germany (Federal Republic of)	On the characterization of unwanted emissions of digital systems	デジタル・システムに起因する不要発射 の特性の決定
109	Korea (Republic of)	Working document toward preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY]- Test procedure for measuring DF accuracy	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案に向け た作業文書 DF精度測定のための試験手順
110	Rai Way S.p.A.	Working document toward a draft new Report on technical identification of digital signals	デジタル信号の技術的識別に関する新 報告文書案に向けた作業文書
111	Japan	Information document for Recommendation ITU-R S.1753-2 - Measurement method for spatial distribution of radio noise in an indoor environment	勧告文書 ITU-R SM.1753-2 に対する情 報文書 屋内環境における電波雑音の面分布の 測定方法
112	Japan	Information document for Recommendation ITU-R SM.1753-2 - I/Q data acquisition and data processing technique for radio noise measurement	勧告文書 ITU-R SM.1753-2 に対する情 報文書 電波雑音測定のためのI/Qデータ取得と データ処理手法

文書 番号	提出元	表題	
113	Japan	Information document for Recommendation ITU-R SM.1753-2 - Guide for selection of indoor measurement locations	勧告文書 ITU-R SM.1753-2 に対する情報文書 屋内環境での測定場所の選定ガイド
114	Japan	Proposed revision for a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY] - Test procedure for measuring DF accuracy	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案の修正提案 DF 精度測定のための試験手順
115	Colombia (Republic of)	Proposed additions to Recommendation ITU-R REC-SM.2039	勧告文書 ITU-R SM.2039 への追加提案
116	SG1 Co-Rapporteur	Interim Report to Working Parties 1A and 1C on the work of the Study Group 1 Co-Rapporteurs on the review of ITU-R Recommendations in the SM Series for the database on ITU-R Recommendations	SG 1 共同ラポーター作業に関する WP 1A 及び WP 1C への中間報告 ITU-R 勧告データベース収録に向けた ITU-R 勧告文書 SM シリーズの精査
117	Chairman, WP 1C	LIST OF DOCUMENTS ISSUED (Documents 1C/74 - 1C/117)	審議文書一覧 (文書番号 1C74 – 1C/117)

表-3 出力文書一覧

文書 番号	表題		備考 (提出元)
31	Proposals for revision of Recommendation ITU-R SM.1875-1 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	勧告文書 ITU-R SM.1875-1 の改訂案 DVB-T カバレッジ測定と計画基準の 検証	WP1C
32	Note from the Chairman of WP 1C to the Chairman of Working Party 1B - Assessment of Documents 1C/107 and 1B/162 by WP 1C - How measurement of spectrum occupancy can help spectrum management	WP1C 議長から WP1B 議長への覚書 WP1C による文書 1C/107 及び 1B/162 の評価 周波数占有状況の測定は周波数管理 にどう役立つのか	WP1C
33	Annex [n]2 to Working Party 1C Chairman's Report - Correspondence Group on the development of a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[STORAGE OF I/Q DATE] on a harmonized data format for the storage of I/Q data	WP1C 議長報告の添付文書[n]2 新勧告文書 ITU-R SM.[STORAGE OF I/Q DATA]の事 前案の作成に係る CG の TOR I/Q データの保存のための統一的なデ ータ・フォーマット	WP1C
34	Note from Chairman Working Party 1C to Chairman Working Party 1A - Coexistence of wired telecommunications (including PLT) with radiocommunication systems - Contact point for Working Party 1C	WP1C 議長から WP1A 議長への覚書 有線電気通信システム (PLT を含む) と無線通信システムの共存に係る WP1C のコンタクトポイント	WP1C
35	Liaison statement to Working Party 3L - Information documents on indoor noise measurements	WP3L への連絡文書 屋内の雑音測定に関する情報文書	WP1C
36	Liaison statement to Working Party 5B (copy for information to Working Parties 5A and 5C) - Station call sign identification to be used by oceanographic radar in frequency band 3 to 50 MHz	WP5B への連絡文書 (WP5A 及び WP5C へも参考送付) 3-50 MHz 帯の海洋レーダーによって 使用される無線局識別信号 (コールサ イン)	WP1C
37	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051-2 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	勧告文書 ITU-R SM.1051-2 の改訂案 406-406.1 MHz 帯における有害な干渉 の特定・除去の優先度	WP1C

文書 番号	表題		備考 (提出元)
38	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051-2 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz (with revisions highlighted in yellow)	勧告文書 ITU-R SM.1051-2 の改訂案 406-406.1 MHz 帯における有害な干渉 の特定・除去の優先度（改訂部分が黄 色のハイライト表示となったもの）	WP1C
39	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1268-2	勧告文書 ITU-R SM.1268-2 の事前改 訂案 電波監視局における FM 放送波の最大 周波数偏差の測定方法	WP1C
40	Draft revision of Report ITU-R SM.2056-1 - Airborne verification of antenna patterns of broadcasting stations	報告文書 ITU-R SM.2056-1 の改訂案 航空機による放送局のアンテナパタ ーンの検証	WP1C
41	Annex [n]xx to Working Party 1C Chairman's Report - Correspondence Group on the development of a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[PRECISION OF TIME INFORMATION IN OUTPUT DATA OF MONITORING RECEIVERS] - Terms of reference	WP1C 議長報告の添付文書[n]xx 新勧告文書 ITU-R SM.[PRECISION OF TIME INFORMATION IN OUTPUT DATA OF MONITORING RECEIVERS]の事前案の作成に係る CG の TOR 電波監視用受信機の出カデータにお ける時間情報の精度	WP1C
42	Annex [n] to Working Party 1C Chairman's Report - Correspondence Group on the development of a preliminary draft new Report on measurement techniques and new technologies for satellite monitoring - Terms of reference	WP1C 議長報告の添付文書[n] 衛星監視のための測定手法及び新技 術に関する新報告文書の事前案の作 成に係る CG の TOR	WP1C
43	Working document toward preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1880-X- Spectrum occupancy measurement and evaluation	勧告文書 ITU-R SM.1880-X の改訂事 前案に向けた作業文書 周波数占有状況の測定及び評価	WP1C
44	Draft new Report- Application of technical identification and analysis of specific digital signals	新報告文書案 特定のデジタル信号の技術的識別及 び解析の適用	WP1C
45	Draft revision of Report ITU-R SM.2211 - Comparison of time-difference-of-arrival and angle-of-arrival methods of signal geolocation	報告文書 ITU-R SM. 2211 の改訂案 信号の位置特定における到来時間差 （TDOA）手法と到来角（AOA）手法 の比較	WP1C

文書 番号	表題		備考 (提出元)
46	Annex X to Working Party 1C Chairman's Report Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION] – Spectrum Monitoring Evolution	WP1C 議長報告の添付文書 X 新報告文書 ITU-R SM.[SPEC_MON_EVOLUTION]の事 前案に向けた作業文書 電波監視の発展	WP1C
47	Draft revision of Report ITU-R SM.2257-1 - Spectrum management and monitoring during major events	報告文書 ITU-R SM.2057-1 の改訂案 主要イベントにおける周波数管理と 監視	WP1C
48	Reply Liaison Statement to Working party 4C - Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051-2 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	WP4C の連絡文書に対する回答 勧告文書 ITU-R SM.1052-2 の改訂案 406-406.1 MHz 帯における有害な干渉 の特定・除去の優先度	WP1C
49	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY] - Test procedure for measuring DF accuracy	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_ACCURACY]の事前案 DF 精度測定のための試験手順	WP1C
50	This document has been withdrawn	当該文書は取り下げ	-
51	Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_IMMUNITY] - Test procedure for measuring DF immunity against multi-path propagation	新勧告文書 ITU-R SM.[DF_IMMUNITY]の事前案 マルチパス伝搬に対する DF 電磁波耐 性の測定のための試験手順	WP1C
52	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[ON-SITE_DF_ACC]	新勧告文書 ITU-R SM.[ON-SITE_DF_ACC]の事前案に 向けた作業文書 実地での DF 精度測定	WP1C

2014年6月 ITU-R SG1会合報告書

【会合名称】 ITU-R SG1 会合
(周波数管理に関する研究委員会)

【会 期】 2014年6月12日(木)

【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部

【概 要】

本会合は、今研究期間における第3回会合である。38ヶ国の主管庁と12の認められた通信、放送、科学技術、工業団体、地域及び国際機関並びに事務局より115名が参加した。日本からの参加者は、菅田氏、宮澤氏、白井氏(総務省)、服部氏、小林氏(NTTアドバンステクノロジー)の5名である。

WP1A、1B及び1Cからの寄書及び他グループからのリエゾン文書等を含め計35件の入力文書が審議された。この結果、2件の新勧告及び5件の勧告改訂案の採択・承認、2件の新報告及び3件の報告改訂の承認、2件のハンドブック改訂等がなされた。

4.2 勧告案

WP1B から提出された 2 件の勧告改訂案、また WP1C から提出された 3 件の勧告改訂案及び 2 件の新勧告の合計 7 件が採択・承認された。

なお、RA-12 で採択された ITU-R 決議 1-6 に示されたワーキングメソッドに従い、5 件の勧告改訂の承認にあたっては、PSAA (Procedure for the Simultaneous Adoption and Approval by correspondence) による採択・承認手続きがとられた⁴。

1.1 WP1Aからの勧告案

入力文書 Doc. 1/102, 103

WP1A からの勧告案の提出はなかった。

1.2 WP1Bからの勧告案

入力文書 Doc. 1/102, 103

WP1B から提出された以下の 2 件の勧告改訂案が承認された。なお、1/103 (ITU-R 勧告 SM.1603-1 Spectrum redeployment as a method of national spectrum management) は、イスラエルの提案により “low power SRD” から “low power” の記述を削除する等の修正をした上で承認された。

文書番号	勧告案名	表題	種別
1/102	SM.1413-2	Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	改訂
1/103	SM.1603-1	Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	改訂

1.3 WP1Cからの勧告案

入力文書 Doc. 1/96,97,98,105,106

WP1C から提出された以下の 5 件の勧告案 (勧告改訂案 3 件、新勧告案 2 件) が審議された。1/105 (新 ITU-R 勧告 SM.[DF_ACCURACY] DF 精度測定のための試験手順) については、Annex 2.7 項「試験データの評価」における記述「DF accuracy: $\leq 2.5^\circ$ RMS (30 MHz to 3000 MHz, according to Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY])」を「DF accuracy: $\leq 2.5^\circ$ RMS (30 MHz to 3 000 MHz)」に修正した上で、PSAA を適用せずに 2

⁴ Working methods for the Study Groups ([Resolution ITU-R 1-6](#)) 参照。ただし、RR に参照により引用されている勧告は対象外とされる。

段階 Correspondence⁵による承認手続きをとることを条件に合意され、SG1で承認された。また、1/106（新 ITU-R 勧告 SM.[DF_IMMUNITY] マルチパス伝搬に対する DF 耐性測定のための試験手順）についても、同様に 2 段階 Correspondence による承認手続きをとることを条件に合意され、SG1 で承認された。本件については、今後日本からの寄与が期待されている旨の発言があった。これらを除く 3 件の勧告改訂案は特段の議論・質問等なく承認された。

文書番号	勧告案名	表題	種別
1/96	SM.1051-2	Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	改訂
1/97	SM.1268-2	Method of measuring the maximum frequency deviation of FM broadcast emissions at monitoring stations	改訂
1/98	SM.1875-1	DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	改訂
1/105*	SM.[DF_AC CURACY]	Test procedure for measuring Direction Finder accuracy	新
1/106*	SM.[DF_IM MUNITY]	Test procedure for measuring Direction Finder immunity against multi-path propagation	新

* PSAA ではなく 2 段階 Correspondence による承認手続きを適用することを条件に承認された

4.3 勧告のエディトリアルな修正

入力文書 Doc.1/92,107

WP6A 及び WP1A から入力された ITU-R 勧告 SM.1541-5（帯域外の不要発射）のエディトリアルな修正は特段の質問・議論なく承認された。

なお、勧告のエディトリアルな修正は新勧告や勧告改訂の承認手順とは異なり SG1 会合により採択・承認され、会合終了後すぐに有効とされる。

文書番号	提出元	勧告名	表題
1/92,107	WP6A, WP1A	SM.1541-5	Unwanted emissions in the out-of-band domain

⁵ 本手続きでは、まず、Correspondence による採択をかけ、2 ヶ月の間、コメントを募集する。この期間中にコメントがなければ、さらに 2 ヶ月の期間で承認手続きを実施する。一方、採択に対するコメント募集期間に異議があれば、当該 WP に差し戻し、次回会合で作業を継続することになる。

4.4 研究報告⁶

3.1 WP1Aからの研究報告案

入力文書 Doc.1/109

以下の1件の文書について、英国（BBC）から WPT から放送業務への影響に関してコメントが出されたが、研究報告案については修正なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/109	SM.2303	Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	新

3.2 WP1Bからの研究報告案

入力文書 Doc.1/112

以下の1件の文書が特段の質問・議論なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/112	SM.2012-4	Economic aspects of spectrum management	改訂

3.3 WP1Cからの研究報告案

入力文書 Doc.1/99, 100, 101, 104

我が国からの提案である新報告1件と報告改訂3件が審議された。ITU-R 勧告 SM.2211（信号の位置特定に関する到達時間差法と到来角法の比較）は、セクション4から“discussion”の記述を削除したほか、エディトリアルな修正をした上で承認された。これを除く3件の報告案は、特段の質問・議論なく承認された。

文書番号	研究報告名	表題	種別
1/99	SM.2056-1	Airborne verification of antenna patterns of broadcasting stations	改訂
1/100	SM.2304	Application of technical identification and analysis of specific digital signals	新
1/101	SM.2211-1	Comparison of time-difference-of-arrival and angle-of-arrival methods of signal geolocation	改訂
1/104	SM.2257-2	Spectrum management and monitoring during major events	改訂

⁶ 研究報告は SG1 会合により採択・承認され、会合終了後すぐに有効とされる

4.5 新課題及び課題の改訂

今会合では特に議論はなかった。

4.6 新ハンドブック及びハンドブックの修正

5.1 WP1Aからのハンドブック修正案

入力文書 Doc.1/108

以下の 1 件のハンドブックについて、ハンドブック内の他の文書への参照についてアップデートすることが必要である旨が説明され、SG1 議長とカウンセラーで確認と修正を行うことが提案・承認された。また、P.219 の“IBM PC”等の古い記述を削除してほしい旨の説明がイスラエルからあり、SG1 議長よりカウンセラーとの作業により全体をチェックして該当する部分を削除・修正することが承認された。これらの確認と修正作業を行うことを前提として本文書は承認された。

文書番号	ハンドブック名	種別
1/108	computer-aided techniques for spectrum management (CAT)	改訂

5.2 WP1Bからのハンドブック修正案

入力文書 Doc.1/113

以下の 1 件のハンドブックについて、文書内の他文書への参照についてアップデートが必要なものがある等の説明があり、SG1 会合終了後にアドバイザーも含めてエディトリアルな修正を行うことが提案・承認され、これを前提に文書が承認された。

文書番号	ハンドブック名	種別
1/113	National spectrum management (NSM)	改訂

4.7 勧告、研究報告、研究課題の削除

今会合では特に議論はなかった。

4.8 ハンドブック、課題、勧告、報告、意見、決議、決定のステイタス

7.1 現状の確認

入力文書 Doc.1/2(Rev.1)

SG1 の研究課題の完了時期及び担当 WP について議論がなされた。完了時期は赤字で示された部分および研究課題 210-3/1 が 2015 年まで延長されることが承認された。当該研究課

題の担当 WP について、「1A(1B)」との記載とするとともに、WP1B は WP1A の検討の進捗に応じて検討に参加することが脚注に記載されることで、承認された。

7.2 課題の延長

入力文書 Doc.1/1(Rev.1), 2(Rev.1)

上記 7.1 参照。

7.3 SG1に注意が喚起された勧告および課題

入力文書 Doc.1/93, 94

1/93, 94 (SG1 の注意喚起が必要とされる SG5 による勧告 2 件 (M.1580-5, M.1581-5)) はノートされた。1/94 については、完成を 2014 年に変更することを記載された。

4.9 他の SG や国際機関とのリエゾン

8.1 ITU-R

入力文書 Doc.1/85, 90

1/85 (ITU-T SG13 研究課題 16/13 に関するリエゾン文書)、1/90 (ITU-R 研究課題 255/7) については質問・議論なくノートされた。

8.2 ITU-T

入力文書 Doc.1/86, 91

1/86 (WTSA-12 行動計画に関するリエゾン文書)、1/91 (ITU-T 研究委員会と ICT イノベーションパネルのための新しい標準化活動に関するリエゾン文書) については質問・議論なくノートされた。

8.3 ITU-D

入力文書 Doc.1/89, 110

1/89 (用語「ICT」の実用的な定義を推敲するコレスポネンスグループにおいて合意された定義に関するリエゾン文書) については、本会合期間内のジョイントミーティングで結論が出ているため、ここではその結論をノートするのみとする旨が説明された。また、1/110 (WTDC-14 で決議 9 になされた活動の継続に関する改訂) については、ITU-D の決議 9 に関して、ITU-R と ITU-D の協力作業の進め方の議論がなされ、今後の ITU-D 会合の日程を SG1 会合に合わせてジョイントミーティングを容易にすることが合意された。

8.4 CISPR

入力文書 Doc.1/87, 88

1/87 (8.3-9kHz 帯の割当てに関する CISPR からの情報)、1/88 (ITU-R 研究課題 210-3/1 「ワイヤレス電力伝送」に関する WP1A リエゾン文書への返信) については質問・議論なくノートされた。

8.5 その他の機関

入力文書 Doc.1/95

ECO (European Communications Office) から入力された 1/95 (CEPT/ ECC の成果に関する情報) については質問・議論なくノートされた。

8.6 コンタクトパーソン

SG1 議長から WPT に関する CISPR とのコンタクトパーソンについて、日本から選出するよう要請があったところ、日本への帰国後に人選について検討し、別途回答する旨返答した。その他の機関とのコンタクトパーソンはケース・バイ・ケースで選ばれることが承認された。なお、電磁界への人体ばく露については MAZAR Haim 氏 (イスラエル、SG1・WP1A 副議長) が ITU-T と ITU-D へのコンタクトパーソンになることを提案し、了承された。

4.10 次回の SG 会合

来年の SG1 の各 WP 会合は 2015 年 6 月 3 日から 10 日まで、SG1 会合は 6 月 11 日及び 12 日にスイス (ジュネーブ) において開催される予定。

入力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
84	Chairman, SG 1	Summary record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1	SG1 会合報告書の概要
85	WP 5D	Liaison statement to ITU-T Study Group 13 Question 16/13 (copy to ITU-R Study Group 1 and for information to Working Parties 5A, 5B and 5C)	ITU-T SG13 研究課題 16/13 へのリエゾン文書
86	TSAG	Liaison statement on WTSA-12 Action Plan	WTSA-12 行動計画に関するリエゾン文書
87	Director, BR	CISPR letter on the use of the band 8.3-9 KHz	8.3-9kHz 帯の割当てに関する CISPR からの情報
88	International Special Committee on Radio Interference	Reply to Working Party 1A liaison statement on study on Question ITU-R 210-3/1 "Wireless power transmission"	ITU-R 研究課題 210-3/1「ワイヤレス電力伝送」に関する WP1A リエゾン文書への返信
89	Chairman, ITU-D SG 1	Liaison statement - Agreed Working Definition of the Term "ICT" - Correspondence Group on the Elaboration of a Working Definition of the Term "ICT"	用語「ICT」の実用的な定義を推敲するコレスポネンスグループにおいて合意された定義に関するリエゾン文書
90	SG 7	Question ITU-R 255/7	ITU-R 研究課題 255/7
91	ITU-T LS 07R1	Liaison statement on New Standardization Activities for ITU-T Study Groups and ICT Innovation Panel	ITU-T 研究委員会と ICT イノベーションパネルのための新しい標準化活動に関するリエゾン文書
92	WP 6A	Liaison statement to Study Group 1 - Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	帯域外の不要発射に関する ITU-R 勧告 SM.1541-5 に係る SG1 へのリエゾン文書
93	SG 5	Recommendation ITU-R M.1580-5 - Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	IMT-2000 の地上無線インターフェースの基地局における不要輻射特性に関する ITU-R 勧告 M.1580-5
94	ITU-R SG 5	Recommendation ITU-R M.1581-5	ITU-R 勧告 M.1581-5

文書 番号	提出元	表題	
95	European Communica tions Office	Information about recent CEPT/ECC deliverables	CEPT/ ECC の成果に関する情報
96	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1051-2 - Priority of identifying and eliminating harmful interference in the band 406-406.1 MHz	406-406.1 MHz 帯における有害干 渉の特定・除去への優先的対応に関 する ITU-R 勧告 SM.1051-2 の改訂 案
97	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1268-2 - Method of measuring the maximum frequency deviation of FM broadcast emissions at monitoring stations	監視局における FM 放送波の最大 周波数偏差の測定方法に関する ITU-R 勧告 SM.1268-2 の改訂案
98	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1875-1 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	DVB-T カバレッジ測定と計画基準の 検証に関する ITU-R 勧告 SM.1875-1 の改訂案
99	WP 1C	Draft revision of Report ITU-R SM.2056-0 - Airborne verification of antenna patterns of broadcasting stations	航空機による放送局のアンテナパ ターンの検証に関する ITU-R レポ ート SM.2056-0 の改訂案
100	WP 1C	Draft new Report ITU-R SM.[TECH-IDENT] - Application of technical identification and analysis of specific digital signals	特定のデジタル信号の技術的特定 及び分析アプリケーションに関する 新 ITU-R 勧告案 SM.[TECH-IDENT]
101	WP 1C	Draft revision of Report ITU-R SM.2211 - Comparison of time-difference-of-arrival and angle-of-arrival methods of signal geolocation	信号の位置特定に関する到達時間 差法と到来角法の比較に関する ITU-R レポート SM.2211 の改訂案
102	WP 1B	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	RDD に関する ITU-R 勧告 SM.1413-2 の改訂案
103	WP 1B	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.1603-1 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	NSM の方法としての周波数再配置 に関する ITU-R 勧告 SM.1603-1 の 改訂案
104	WP 1C	Draft modification of Report ITU-R SM.2257-1 - Spectrum management and monitoring during major events	主要イベントにおける周波数管理と 監視に関する ITU-R レポート SM.2257-1 の改訂案
105	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_ACCURACY] - Test procedure for measuring Direction Finder accuracy	DF 精度測定のための試験手順に関 する新 ITU-R 勧告案 SM.[DF_ACCURACY]

文書 番号	提出元	表題	
106	WP 1C	Draft new Recommendation ITU-R SM.[DF_IMMUNITY] - Test procedure for measuring Direction Finder immunity against multi-path propagation	マルチパス伝搬に対する DF 耐性測定のための試験手順に関する新 ITU-R 勧告案 SM. [DF_IMMUNITY]
107	WP 1A	Draft editorial modification of Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	帯域外不要発射に関する ITU-R 勧告 SM.1541-5 の改訂案
108	WP 1A	A draft revision of ITU-R Handbook on computer-aided techniques for spectrum management (CAT) dated 10 June 2014	CAT ハンドブックの改訂案
109	WP 1A	Draft new Report ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] - Wireless power transmission using technologies other than radio frequency beam	無線周波数ビーム技術を使用しないワイヤレス電力伝送に関する新 ITU-R レポート案 SM. [WPT. NON-BEAM]
110	Director, BDT	Revisions made by WTDC-14 to Resolution 9 - Continuation of activities	WTDC-14 で決議 9 になされた活動の継続に関する改訂
111	Chairman, WP 1C	Executive Report to Study Group 1	SG1 の議長報告書
112	WP 1B	Draft modification of Report ITU-R SM.2012-3 - Economic aspects of spectrum management	周波数管理の経済的側面に関する ITU-R 勧告 SM.2012-3 の改訂案
113	WP 1B	Draft revision of the ITU-R Handbook on "National spectrum management"	NSM ハンドブックの改訂案
114	Chairman, WP 1A	Executive Report to Study Group 1	SG1 の議長報告書
115	Chairman, WP 1B	Executive Report to Study Group 1	SG1 の議長報告書
116	SG 1 Co-Rapport eurs	Report to Working Party 1B on the work of the Study Group 1 Co-Rapporteurs on the review of ITU-R Recommendations in the SM Series for the database on ITU-R Recommendations	ITU-R 勧告データベースのための ITU-R 勧告 SM シリーズのレビューに関する SG1 共同レポートによる作業の WP1B への報告
117	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1/84 - 1/117)	入力文書一覧(1/84-1/117)
118	Director, BR	Final list of participants - Study Group 1	SG1 最終参加者一覧

